

福知山市『子どもの生活状況等 に関する調査』の結果報告書

2020(令和2)年3月

福知山市

関西国際大学教育学部

目 次

はじめに	2
第 1. 先行研究と本調査の意義	3
第 2. 福知山市の子どもの生活状況等に関する実態調査	5
第 3. 調査方法	5
(1) 調査目的	
(2) 調査対象者	
(3) 調査期間	
(4) 調査件数	
(5) 調査方法	
(6) 調査分析	
第 4. 経緯及び倫理的配慮	8
(1) 経緯	
(2) 倫理的配慮	
第 5. 調査票の回収状況	8
第 6. 分析の視座	9
(1) 相対的貧困率の考え方	
(2) 本調査における貧困ラインの考え方	
(3) 所得による分類	
第 7. 分析結果	10
第 8. 調査結果の概要	26
第 9. 政策的インプリケーション	27
おわりに	27
参考文献	28
参考資料	30

福知山市『子どもの生活状況等に関する調査』結果について

はじめに

日本では「子どもの貧困」について、1990年代の後半から格差や階層への関心が高まり、こうした社会の状況から看過することのできない貧困問題として議論の対象とされるようになった。さらに現在の日本社会は、社会的、経済的、教育的、健康的などさまざまな側面から格差が進行している。とりわけ深刻となっているのは「子どもの貧困」である。国によると、子どもの貧困率は2012年の16.3%から2015年の13.6%と低下しているものの、子どもの貧困率は依然高い水準であり、改善が見られない。

日本では7人に1人のこどもが貧困状態にあり、実に約280万人ものこどもが貧困家庭のなかで貧困にあえいでいるということになる。とりわけひとり親世帯の貧困率は高く、2015年で50.8%とOECD諸国の平均よりも突出して高い。子ども時代における貧困の経験は、そのこどもが成人した後も健康、就労、経済といった点で深刻な影響を与える。生まれ育った子ども期の環境(家庭の経済的・社会的な要因)により、子どもの将来が左右され、子どもの自己実現が阻害されるということが明らかになってきた。

子どもの貧困問題とは、所得が少なく子どもの健康や学習が阻害されたり、親の健康や孤立が子育て力の低下に影響したりすることで、こどもが本来持っている学びや勤労に対する意欲が醸成されず、学力の未定着や社会への不適応等が誘発されることである。その結果によって、もたらされる貧困が更に次の世代に連鎖されていくいわゆる「貧困の世代間継承」¹が見受けられる。

このため家庭の経済支援・子育て支援に併せて、全てのこどもに健やかな成長と学びの機会を保障する環境整備に努め、課題ある児童生徒を中心に学力の定着や自己肯定感と自己有用感²の醸成を図ることを通じて社会的に自立できるこどもの育成を図る必要がある。適切な支援が必要とする者に届く仕組みの整備を急がなければならない。

特に、学校教育・社会教育においては、目の前のこどもの貧困問題の解消を図るとともに、個々の社会的自立を目指した学びの環境を整備し、一人ひとりを大切にしながら多様な学びを推進しなければならない。

子どもの貧困が社会問題として注目されるようになってから10数年が経過した。貧困の連鎖は、学術的にも社会的にも重要なテーマである。しかし、それは親の所得を測定することがほぼ不可能であることから、貧困の連鎖を実証的に検証することは現実的にはかなり難しい。当初は子どもの貧困に関する研究論文は、限定的で先行研究の蓄積は十分ではなかったものの、2008年ころから子どもの貧困に関する報道や論文が散見されるようになり出版が増えている。貧困の世代間継承に関する研究手法は、大きく分けて二つある。一つはすべての所得階層を対象とした統計調査データから親と子世代の所得や学歴などの変数の移動状況を追跡する方法で「パネル調査」といわれるものである。もう一つは、生活保護

¹ 道中(2016)「第2版 貧困の世代間継承」が詳しい。

² 自己肯定感と自己有用感：自分にはいいところや役に立つところがあると感じる力。

を受給している被保護者のケースファイルなどからの成育歴調査、聞き取り調査、アンケート調査による方法である。

生活が苦しい家庭の子どもも、衣食住に困ることなく教育を受け成長できる社会を目指して自治体や地域が連携して、切れ目のない援助で支えることを目的として制定された「子供の貧困対策に関する大綱」が、5年ぶりに改定された。

同大綱は、自己責任として家庭だけに責任を委ねるのではなく、社会全体で取り組む必要性を強調し、全ての子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指している。

今後の取り組むべき重点施策として、子供の貧困に関する調査研究を、子供の貧困の実態等を把握・分析するための調査研究、子供の貧困に関する新たな指標開発に向けた調査研究、子供の貧困対策に関する情報の収集・蓄積、提供の三つを掲げている。こうした調査研究の蓄積によるエビデンスに基づく政策形成が要請されている。

第1. 先行研究と本調査の意義

先行研究では、子どもが貧困状態に陥ると単に経済的な困窮に留まらず、十分な教育が受けられず、将来的にも下積みの生涯を送ることになるといった多くの知見がある。現下において研究動向は「親の貧困」から「子どもの貧困」に視座を置いた潮流となっている。

低所得者、母子世帯を対象とした貧困の世代間連鎖に関しては、青木(2003)、杉村(2004)、岩田・濱元(2004)、石井・山田(2009)、後藤(2006)、阿部(2006)、藤原(2007)、中園(2006)、福岡県立大学付属研究所(2008)、中村(2010)、道中(2006)、道中(2009)、藤原・湯澤(2010)などの先行研究がある。青木(2003)及び杉村(2004)は母子世帯の聞き取り調査から、生活保護受給という貧困の連鎖について、一般母子及び生活保護受給母子ともに健康障害が確認され、子どもの就学、就労に課題を抱える世帯は生活保護受給母子世帯に集中していることを報告している。

岩田・濱本(2006)は、家計経済研究所によるパネル調査により、女性にとって貧困に結びつきやすい要因として「離死別経験」、「子ども3人以上」、「中卒」などの要素を指摘し、持続・慢性型貧困に陥りやすい要因として、「未婚継続」、「離死別経験」、「子ども3人以上」、「中卒」、「離職」、「借家居住」など、多重貧困リスクを明らかにしている。

石井・山田(2009)は、慶応義塾家計パネル調査(KHPS)より、ひとり親世帯という属性が慢性的貧困(3年間の持続的貧困)リスクを高めていると報告している。

貧困の世代間連鎖に関する実証的研究では、表1のとおりである。先鞭をつけたのは、道中(2006)³のA市の被保護世帯の生活実態調査がある。続けて行われた道中の『貧困の世

³ 道中(2006)「保護受給層の貧困の様相 保護受給世帯における貧困の固定化と世代的連鎖」『生活経済政策—特集都市の下層社会』no.127, August, 通巻 543号, 生活経済政策研究所。

代間継承』(2015)⁴では、生活保護を受給している世帯の約70%は親の世代から生活保護を受給していたことが明らかになった。

表1 世代間連鎖に関する実証的研究

論文	利用データ	生活保護受給層の世代間連鎖
青木(2003)	北海道B市の被保護母子世帯のヒヤリング調査(19ケース)	19ケース中3件(15.8%)が生活保護受給歴あり。経済的困窮経験は19ケース中15件(79%)
杉村(2004)	首都圏区部と北海道山麓部及び農村部、九州旧産炭地都市のヒヤリング調査	一般母子及び生活保護受給母子ともに健康障害が確認され子どもの就学、就労に課題を抱える世帯は生活保護受給母子世帯に集中。
中園(2006)	北海道釧路市被保護母子世帯アンケート(181ケース)	14.6%(結婚するまでの期間)。
道中(2006)	A市の被保護世帯3,924世帯のケースファイルから390ケース(757人)を抽出して精査	世帯類型の全体の25.1%、母子世帯では40.6%の高い継承率を確認。高齢者世帯を除く世代間継承率は28.8%。
福岡県立大学付属研究所(2008)	福岡県田川地区の生活保護の廃止台帳を精査(502ケース)	8.2%。ただし世帯主の年齢が若くなるほど連鎖が高くなる。1966年以降の生まれでは29.4%、児童期に保護歴がある者の46.4%が親や兄弟姉妹、親族も受給中。
駒村・道中・丸山(2011)	X市の個票データ(道中一次的調査の被保護母子世帯のケースファイル(318ケース))	解析に十分なデータにより被保護母子世帯の約32.0%が成育期に生活保護受給歴があり厳しい世代間連鎖を実証。
林(2016)	質的調査アプローチにより被保護世帯の子どものライフストーリーに関する研究	被保護世帯の子どものライフストーリーから彼らがある進路へと至る過程を分析し貧困の世代的再生産プロセスを明らかにした。

出所:道中(2009)『生活保護と日本型ワーキングプア 貧困の固定化と世代間継承』をもとに加筆。

駒村・道中・丸山(2011)は解析に十分なデータにより、被保護母子世帯の約32.0%が成育期に生活保護受給歴があり厳しい世代間連鎖を実証している。さらに林(2016)の被保護世帯の子どものライフストーリーから彼らがある進路へと至る過程を分析し、貧困の世代的再生産プロセスの研究報告がある。松村(2016)は、子どもの権利主体の観点から捉え直し、貧困世帯よりも子ども自身の健全育成や学びといった福祉・教育政策上の位置づけの必要性を示唆している。

2014年には「子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、翌年8月には「子供の貧困対策に関する大綱」(以下、「大綱」という)が示された。この大綱を契機に全国的に子どもの生活実態に関する調査が行われてきた。大綱では、子どもの貧困対策を総合的に推進するための枠組みづくりとして、子どもの貧困に関する指標及び当該指標の改善に向けた枠組みづくりの指針を示している。具体的な取組み方策は、教育支援 生活支援 保護者への就労支援 経済的支援 調査研究が掲げられている。この大綱を契機に自治体レベルで「子どもの生活実態調査」が全国的に実施され、実態把握の取組みが行われている。都道府県及び政令指定都市では

⁴ 道中(2015)『貧困の世代間継承 社会的不利益の連鎖を断つ』晃洋書房。

大綱に基づき「子どもの貧困対策計画」が樹立されているものの子どもの貧困に関する実態調査はごく一部の自治体にとどまっている。

これまでの補助事業として行われてきた「学習支援事業」は、2015年に成立した生活困窮者自立支援法に基づく「学習支援事業」として組み換えられた。しかし、同事業は自治体の任意事業とされ、国の補助率も低いことから実施する自治体は多くはない。

第2. 福知山市の子どもの生活状況等に関する実態調査

本調査は、福知山市と関西国際大学との共同で実施するものである。アンケート調査を通して保護者と子どもとの関わり、健康状態、子どもへの将来展望等の現状把握を行う。この間の「子どもの貧困」に関する先行研究を踏まえ、本調査結果からの中心的なデータに基づく論述となっている。「親の貧困」が子どもに及ぼす影響の度合いや経路について、多くの項目が複合的に作用していると考えられるリスク要因を明らかにすることである。

成熟した市民を育てるには子ども時代の貧困は大きな障害になる。子どもの可能性や成長は、効率や費用対効果ではおしはかることのできないものである。そのため貧困の世代的連鎖をめぐる実証的な研究が焦眉の課題となっている。

一方、子どもの権利主体という視座からは、子ども自身が貧困をどのように感じどのように捉えているのかについての先行研究が少なく蓄積が限定的となっている。子どもたちのありのままの姿を受け止め、子ども自らが自尊心をもって前に進むことができるものでなければならないという視点から捉え直さなければならない。

したがって、本調査では、「小学生」、「中学生」、「中学を卒業した子ども」(問31項目)を対象とした3つのアンケート調査を行った。同時に保護者に対する調査では、「中学生以下の保護者」と「中学を卒業した子どもの保護者」の2つのグループに分けアンケート調査を行った。対象者から得られた記述内容を整理し、統計的手法を用いて対象者の属性や特徴を明らかにした。

貧しい家庭で生まれ育った子どもが将来、自らも貧しくなる「貧困の連鎖」を断ち切るために必要な取り組みについて、このアンケート調査を通して保護者と子どもとの関わり、健康状態、子どもへの将来展望等の現状把握を行うとともに、今後の「子どもの貧困対策」に関する課題に向けた必要かつ対応可能な政策的インプリケーションを示唆することを目的とする。

第3. 調査方法

(1) 調査目的

福知山市の貧困の状況にある子どもや家庭の生活実態の把握と支援ニーズの調査・分析を行い、すべての子どもの教育の機会均等と健やかな成育環境の確保が推進されるよう、今後取り組むべき子ども・子育て支援の対応策を検討する。

(2) 調査対象者

調査対象者は、福知山市子ども・子育て支援事業計画(令和2(2020)年度から5年間)策定に向け、福知山市民の生活実態や要望・意見等を把握するため、子育てニーズ調査の実施対象世帯と同様、児童を養育する以下の世帯とする。

福知山市における、0歳から18歳(高等学校3年生の学年)までの子どもの保護者と子ども(小学生4年生から18歳(高等学校3年生の学年)まで)の(親子セット)とする。保護者のみとする。

(3) 調査期間

令和元(2019)年5月22日(水)～令和2(2020)年3月31日(火)

(4) 調査件数

調査対象者と調査件数は、表2のとおり、令和元(2019)年5月～7月に市民の親子1,800人および保護者の1,500人の合計3,300人である。

表2 調査対象者と調査件数〔令和元(2019)年4月30日現在 住民基本台帳〕

調査対象		調査件数
(1)保護者 親子セット	保護者	900人
	0歳～小学3年生	
	小学4年生～18歳(高等学校3年生)	900人
(2)保護者のみ		1,500人
合計		3,300人

各年齢において、小学3年生までは保護者のみ150人、小学4年生以上は保護者と子ども各100人とする。

(5) 調査方法

無作為抽出

同一家庭が複数回答しないよう考慮して無作為抽出し郵送により配布し返信用封筒を回収する。

無記名式

調査対象の子ども、保護者がそれぞれ回答し別封筒で封緘したうえで一緒に郵送にて返送する。

アンケート配布回収方法

アンケート用紙の配布は、福知山市が令和元(2019)年5月下旬に郵送により配布する。また回収については、関西国際大学教育学部が7月31日までの返信用封筒の送達分を受理し回収する。

調査項目数と項目の内容

調査の内容は、別紙「福知山市子どもの貧困対策調査・計画策定業務委託仕様書」のとおりである。調査対象は表3のとおり5類型として、それぞれ質問項目を設定した。アンケート調査票は調査対象者によって質問内容、質問項目数が異なる。

表3 調査対象者と質問項目数

調査対象	調査件数	質問項目数
1.保護者(親子セット)	331人	問1～33
2.小学生用(小4～6)	113人	問1～24
3.中学生用(中学生)	113人	問1～26
4.中学を卒業(高校生)	105人	問1～38
5.保護者のみ	695人	問1～31
合計	1,356人	

表4 調査項目の内容(保護者対象)

	主な項目	主な設問
保護者対象	世帯と保護者の状況	世帯構成、年齢、世帯人数、保護者の就業状況 等
	生計の状況	世帯の1か月あたりの収入 等
	経済状況・生活状況	世帯全体の収入、利用している制度、手当 等
	就労状況	保護者の就労状況 等
	子どもとの関わり	親子の会話の内容、子どもの食事 等
	健康状態	保護者と子どもの健康状態、子どもの虫歯の有無 等
	子どもの教育	登校状況、教育費関連の負担
	相談相手	子育ての相談相手の有無

表5 調査項目の内容(子ども対象)

	主な項目	主な設問
子ども対象	学校生活・自己肯定感	起床、就寝、登校状況、勉強の理解度、勉強・読書時間
	塾や習い事	塾や習い事の有無
	健康状況	歯磨き、お風呂
	生活状況	親子の過ごし方、挨拶などの会話、朝ごはん、昼ご飯
	自分の気持ち	悩みや困りごとの対応、将来の夢

(6) 調査分析

分析にあたってはアンケート調査票に記載されている内容をすべて電子データ化し、その後、対象者の属性や生活課題ごとに分類してコード化した。また、分類・コード化に際

しては、その妥当性・正確性を期すために複数の研究者がチェックを行う体制を敷いた。その後データセットを統計ソフト SPSS Ver.22.0 for Windows 等で分析した。

第 4. 経緯及び倫理的配慮

(1) 経緯

本調査は、福知山市と関西国際大学との共同で実施するものであり、福知山市子ども・子育て支援事業計画(策定義務)における調査の一環として、福知山市民を対象に行われるものである。同市は令和 6 (2024) 年度までの福知山市子ども・子育て支援事業計画を策定予定で、令和 2 年度に見直しを検討している。その前段階として同市子ども・子育て会議条例により平成 29 (2017) 年度「福知山市子どもの貧困対策検討部会」が設置され、在り方が提言された(平成 31 (2019) 年 2 月で終了)。

平成 31 (2019) 年 4 月、同市における子ども・子育て会議により生活実態調査が実施されることとなった。福知山市子ども・子育て支援事業計画の策定に子どもの貧困対策に関する領域を加える必要性があり、生活実態調査の結果を踏まえたエビデンスに基づく政策が要請されている。本調査は、同市の子ども・子育て会議における臨時委員として「福知山市子どもの貧困対策検討部会」に出席していた道中委員の所属する関西国際大学に調査の一部を委託することについて承認された。

アンケート調査実施に際しては、市民に対して「アンケートのご協力をお願い」を同封し主旨を説明した。

(2) 倫理的配慮

本調査は、協力者の意思で質問紙調査について、フェースシートで調査の趣旨、プライバシーの保護、調査の拒否・撤回により不利益がないことなどを紙面で説明し、同意を前提とした回答となっている。

また、得られた情報については、個人が特定されることのないよう配慮するとともに、収集した資料の秘匿に関する管理及び統計処理を終えた資料については、適切な廃棄処理の徹底を図るものとする。したがって、本研究は、こうした慎重な手続きを経て行うものであるが、入念的に関西国際大学研究倫理委員会の承認を得、関西国際大学研究倫理委憲章に従い、対象者全員にインフォームド・コンセントを得たうえで実施した(関西国際大学 2019 研倫委審第 R1-14-1 号)。

第 5. 調査票の回収状況

分析の対象はアンケート調査票の回答分であり、調査件数は表 6 のとおり、親子 662 人および保護者のみ 695 人の合計 1,356 人で回収率は 41.1%であった。調査対象者別のアンケート調査の回答結果は、(1)「保護者と親子セット」36.8%、(2)「保護者のみ」46.3%であった。なお、無効と判断されたアンケート調査の回答数は 13 通であった。

表6 調査票の回収状況

(2019.07.30 現在)

調査対象		調査件数	有効回収実数	有効回収率 %
(1)保護者 親子セッ ト	保護者	900人	331人	36.8
	0歳～小学3年生		331人 小学生用 (113) 中学生用 (113) 中学を卒業 (105)	36.8 (12.5) (12.5) (11.7)
	小学4年生～18歳 (高等学校3年生)	900人		
(2)保護者のみ		1,500人	695人	46.3
合 計		3,300人	1,356人	41.1

親子アンケート不在4, 子ども用アンケート不在8, 3種類のアンケート同封1の計13通のアンケートは無効とし不算入とした。なお、欠落補充は行わない。

第6. 分析の視座

(1) 相対的貧困率の考え方

相対的貧困率とは、一定基準(貧困線)を下回る等価可処分所得(収入から税金・社会保険料等を控除したいわゆる手取り収入である世帯の可処分所得を世帯人数の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分の額である。国においては、平成27(2015)年度の日本の所得の中央値が約245万円であり、その額の50%にあたる122.5万円以下で生活する家庭が、相対的貧困の世帯と位置付けられている。

(2) 本調査における貧困ラインの考え方

福知山市の場合、2人親で2人の子どもを扶養する家庭の所得(平均)が129万円でこの家庭の収入は312万円となっている。所得から推定する収入と本市の貧困ラインの考え方として、年間総収入が300万円～400万円あたりを貧困線として捉えられる(表7参照)。

そこで年間総収入が300万円未満と400万円未満とで剥奪指標に関する状況を比較したところ、大きな差がみられた(300万円未満においてはほとんど差が見られなかった)。また、全てのアンケート調査結果を300万円未満と400万円未満で集計し比較したところ差がみられた。したがって年間総収入が300万円未満を低所得層と位置付けることが妥当と考えられる。

表7 貧困ラインの比較

	年間総収入が300万円未満	
アンケート調査結果	10.6%	878人中93人
保育所入所家庭(推計)	18.8%	2776人中521人
子どもの貧困率	13.9%	平成27(2015)年

(3) 所得による分類

本調査においては、所得による影響を分析する手法として、所得分類(貧困線以上・貧困線未満)によるクロス集計を行った。

第7.分析結果

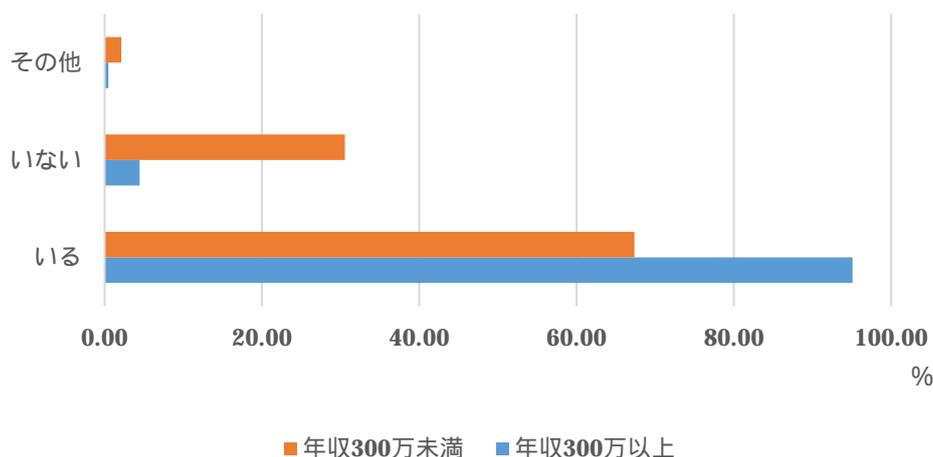
本調査においては、所得による影響を分析するため分析手法として、保護者の年収が300万円未満をいわゆる相対的貧困として設定し、年収300万円未満世帯と300万円以上世帯のクロス集計を行った。ここでは年収300万円未満(以下、「貧困世帯」という)と、「貧困世帯、年収300万円以上(以下、「非貧困世帯」という)に分類し、両群の集計結果の差が統計的に有意かどうかを検討した。なお、分類の基準とする「貧困世帯」と「非貧困世帯」の算出は、厚生労働省の「国民生活基礎調査」による「相対的貧困率」の算出方法に準拠したものであるが、「国民生活基礎調査」とは、対象者や調査手法等が異なるため、同調査の「貧困線」や「相対的貧困率」と比較し得るものではない。

1. 保護者対象調査結果の概要

(1) 世帯・保護者の状況

図1は、配偶者(婚姻関係にある人)がいるかどうかを確認した結果である。貧困世帯では非貧困世帯に比べ、ひとり親世帯の割合が高い傾向があり、統計的にも有意であった。

図1 配偶者の有無について



(2) 就労および生計の状況

図2は保護者の就労状況、図3は保護者の雇用形態の状況について集計したものである。保護者の就労状況について、非貧困世帯と貧困世帯との間に有意な差はみられなかった。

一方、雇用形態については、父親、母親ともに、非貧困世帯の方が貧困世帯に比べ、正規雇用が多く、統計的にも有意差がみられた。

図2 親の就労状況について

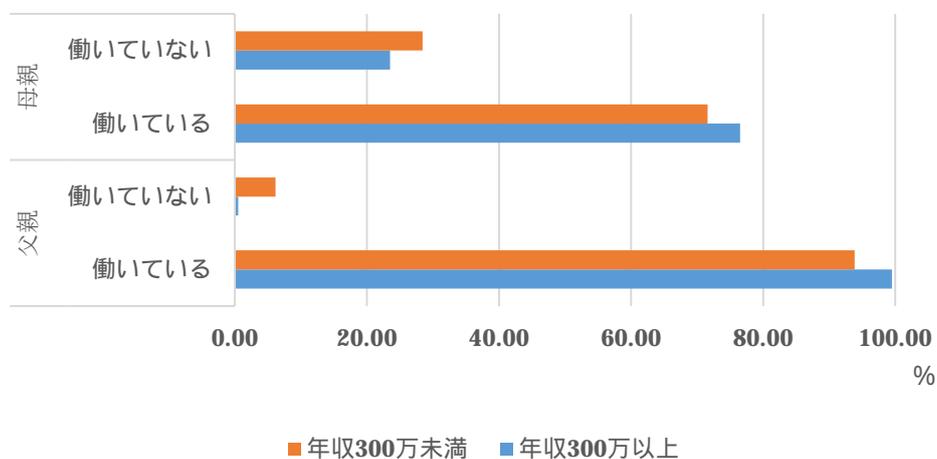


図3 親の雇用形態について

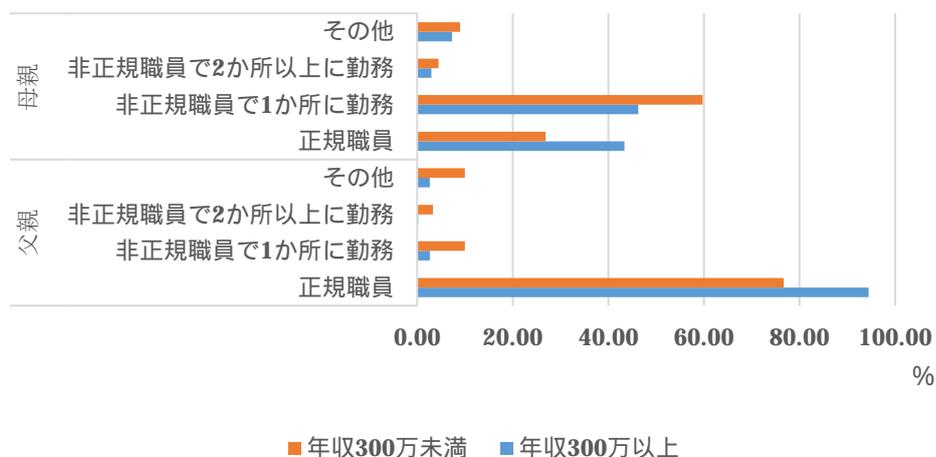
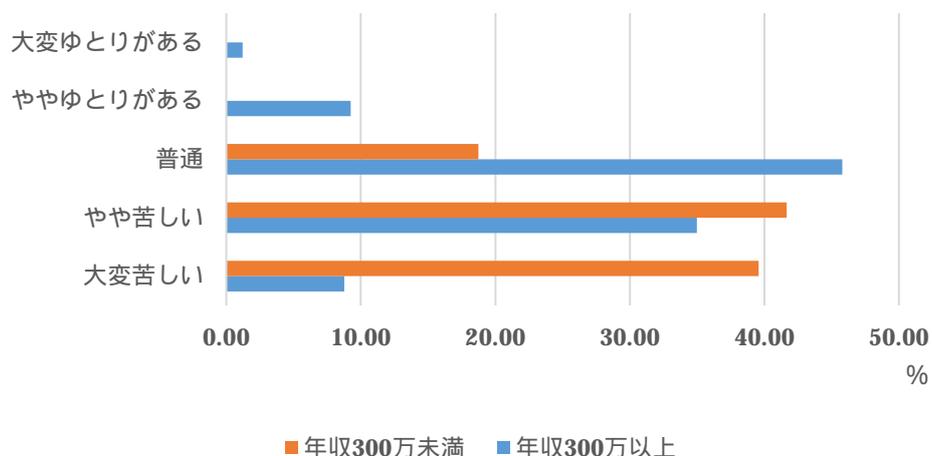


図4は、経済的な暮らしの状況をどのように感じているかを集計したものである。非貧困世帯の方は、「普通」「ややゆとりがある」が貧困世帯に比べて有意に多かった。貧困世帯は、「大変苦しい」が非貧困世帯に比べて有意に多く、貧困世帯の方が相対的に経済的な暮らしにゆとりを感じていない傾向がある。

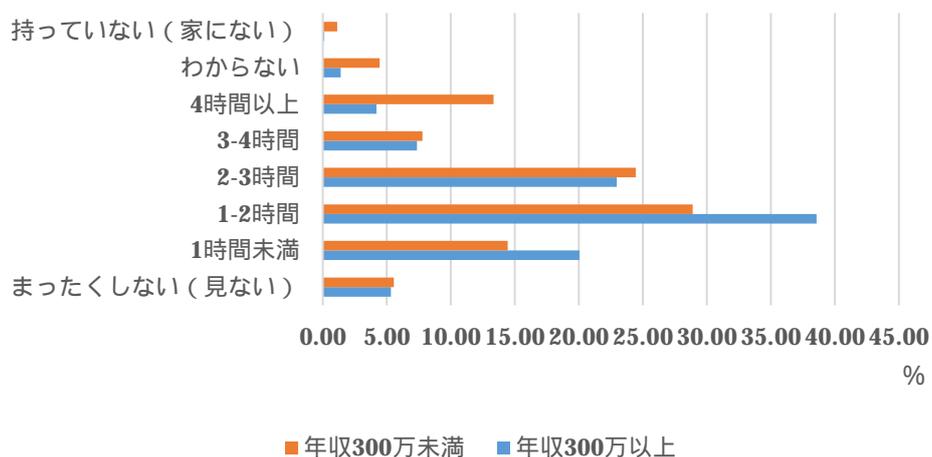
図4 経済的な暮らしの状況について



(3) テレビゲームやスマートフォンの利用

図5は、テレビゲームやスマートフォンを利用する時間について集計したものである。テレビやスマートフォンを利用する時間は、「4時間以上」と「わからない」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。貧困世帯の子どもは、平日に長時間(4時間以上)家でテレビやスマートフォンを利用する習慣の子どもが多い傾向にあることがわかる。

図5 テレビゲームやスマホの利用時間

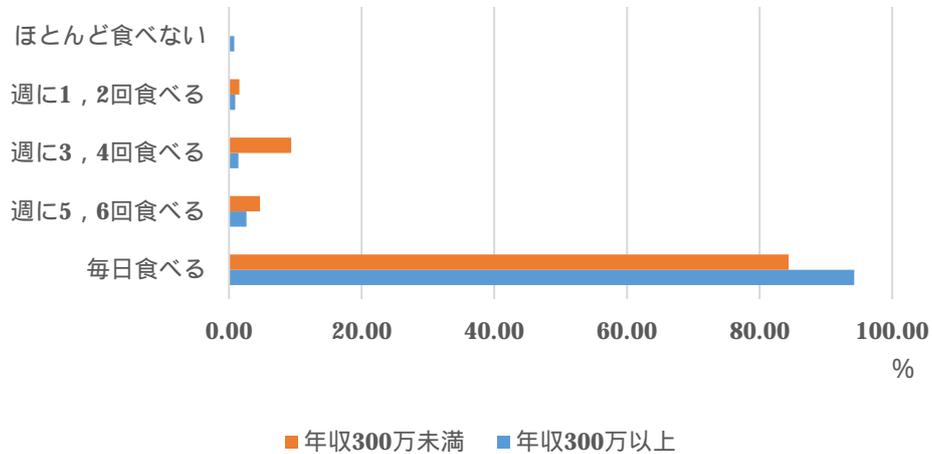


(4) 朝食の摂取状況

図6は、朝食の摂取状況について集計したものである。朝食を摂っているかどうかについて確認したところ、「毎日食べる」で非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低か

った。また、「週に3,4回食べる」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。貧困世帯の子どもは、相対的に朝食を毎日摂らない傾向にあることがわかる。

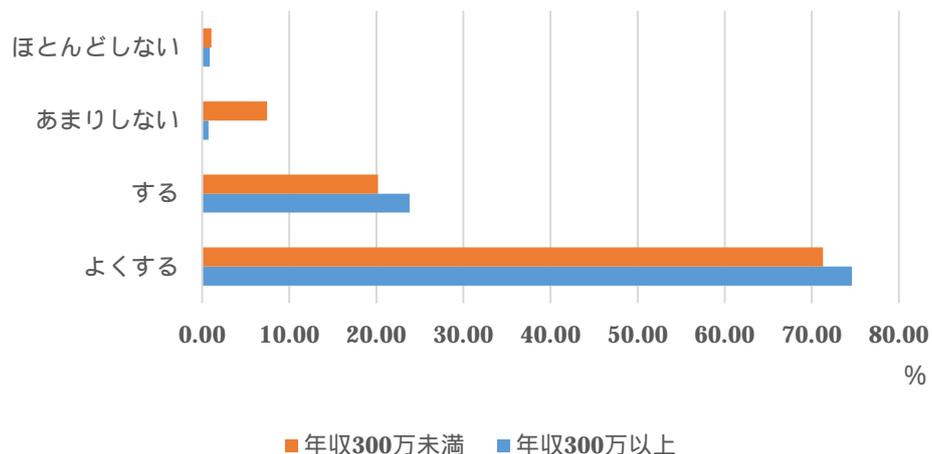
図6 朝食を摂っている状況について



(5) 家族とのコミュニケーション（会話やあいさつ）の習慣

図7は、家族との会話の頻度や家族との会話の状況やあいさつの習慣について確認した。まず、保護者アンケートからは、会話の頻度として、「あまりしない」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。

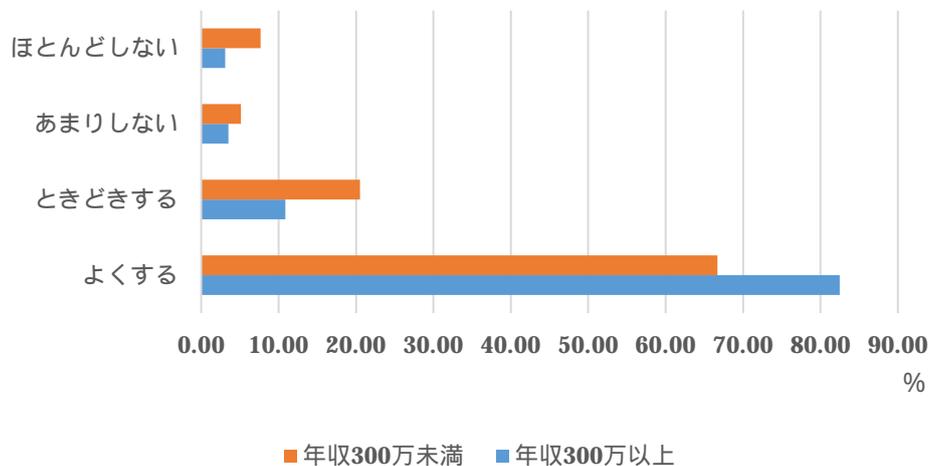
図7 子どもとの会話の頻度について



子ども対象調査において、同様の質問項目として設けた「家の人とどれくらい会話をしますか」を集計した結果、貧困世帯と非貧困世帯との間に差はみられなかった。類似の質問項目である「家の人と『おはよう』『おやすみなさい』『行ってきます』などのあいさつをしていますか」を集計した結果（図8）、「よくする」で非貧困世帯が有意に高く、

貧困世帯が有意に低かった。貧困世帯は、相対的に家族との会話や日頃の挨拶の頻度が低い傾向にあることがわかる。

図8 「おはよう」「おやすみ」などのあいさつについて



(6) 塾や習い事

図9は子どもが塾や習い事に通っているかどうか、そして図10は通っていない理由について集計したものである。まず、塾や習い事に通っているかどうかについては、「通っている」で非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低かった。次に、通っていない理由については、「経済的に通えない」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯で有意に高かった。また、「必要性を感じない」で非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低かった。これらから、貧困世帯の子どもは、相対的に塾や習い事に通っていない傾向にあり、その理由に経済的要因があることが推察される。

図9 塾や習い事について

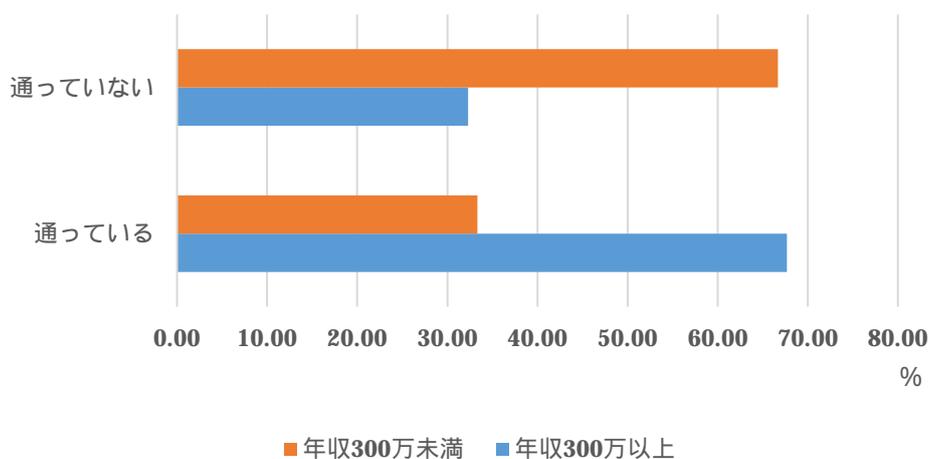
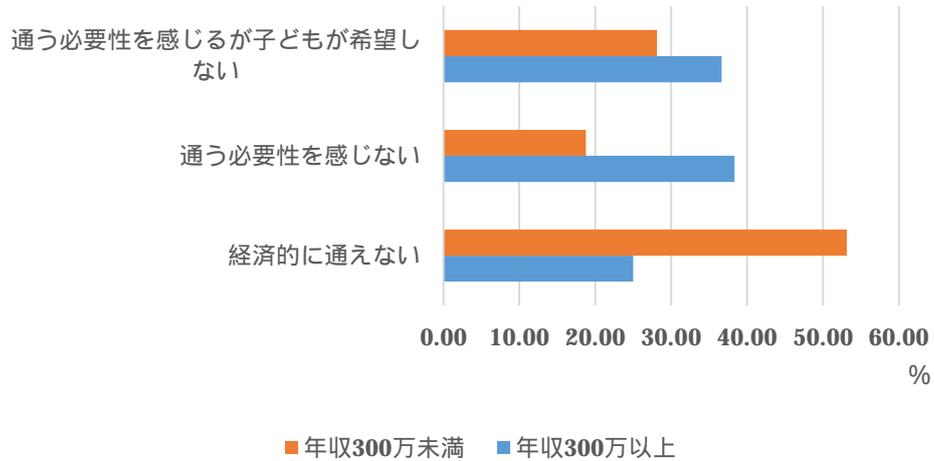


図10 塾や習い事に通っていない理由について



(7)健康状況

図11は母親の健康状態について、図12は父親の健康状態について集計したものである。なお、図の「1」は健康状態が良い、「5」は健康状態が悪い、を表している。母親の健康状態について、健康状態が悪い方にある「4」と「5」で、非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。父親の健康状態については、有意な差はみられなかった。貧困世帯の母親の健康状態が悪い傾向にあることがわかった。

図11 母親の健康状態について

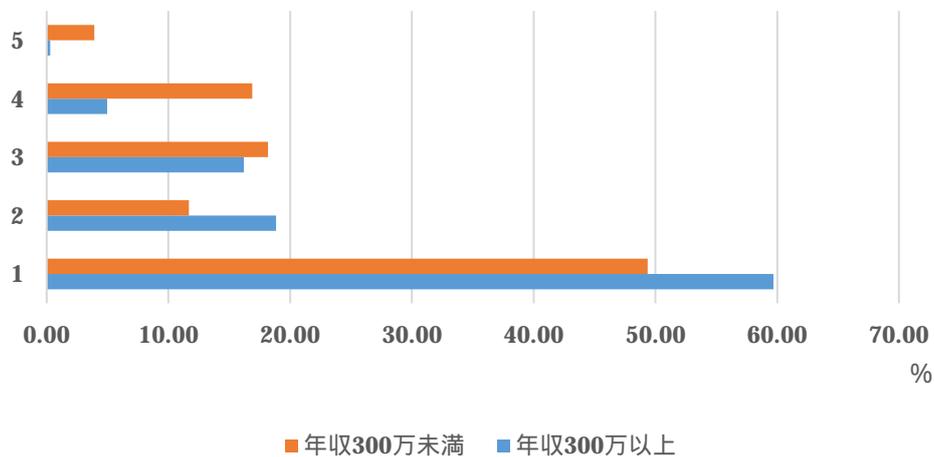
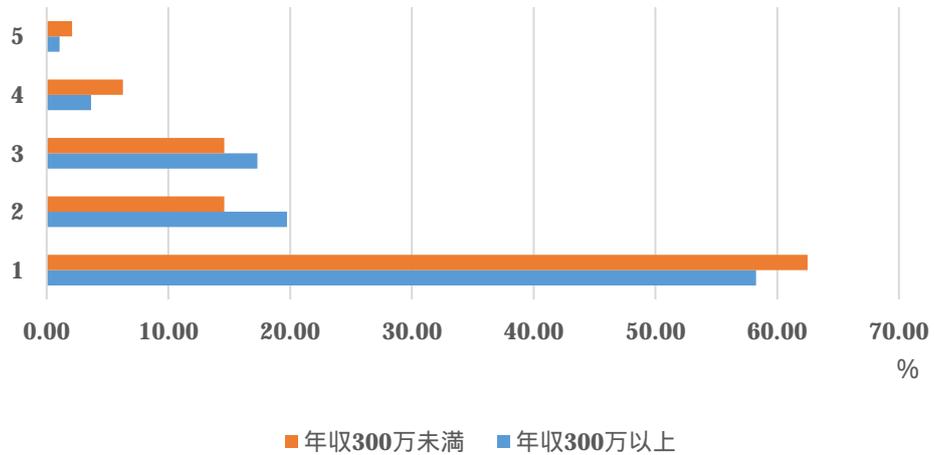


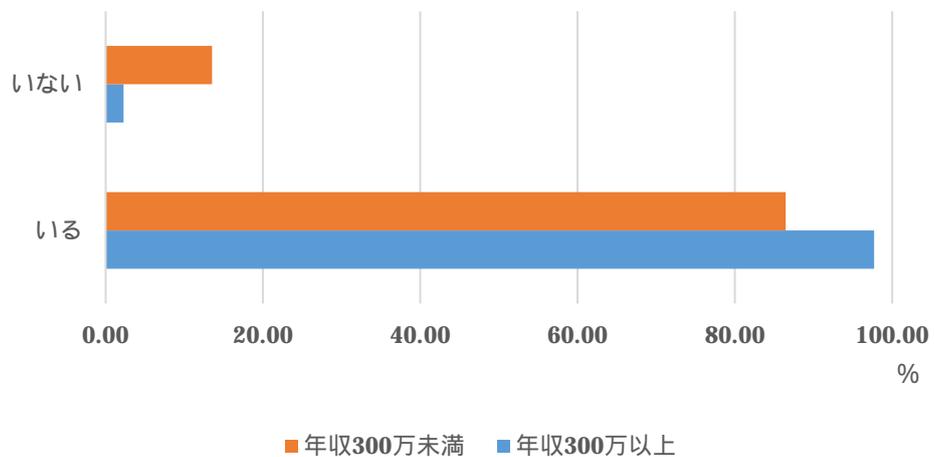
図12 父親の健康状態について



(8) 周囲とのつながり

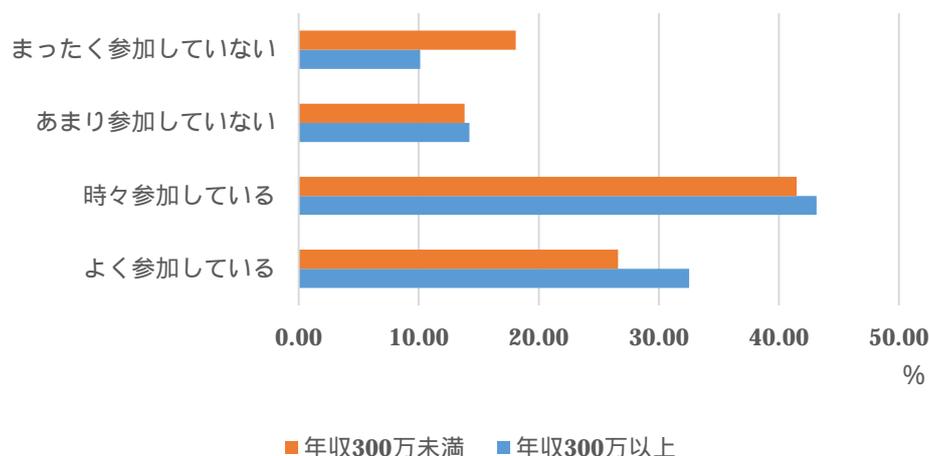
周囲とのつながりの状況について、まず、子育てについて相談できる相手がいるかどうかを確認したところ（図13）、「いる」で非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低かった。

図13 子育ての相談相手について



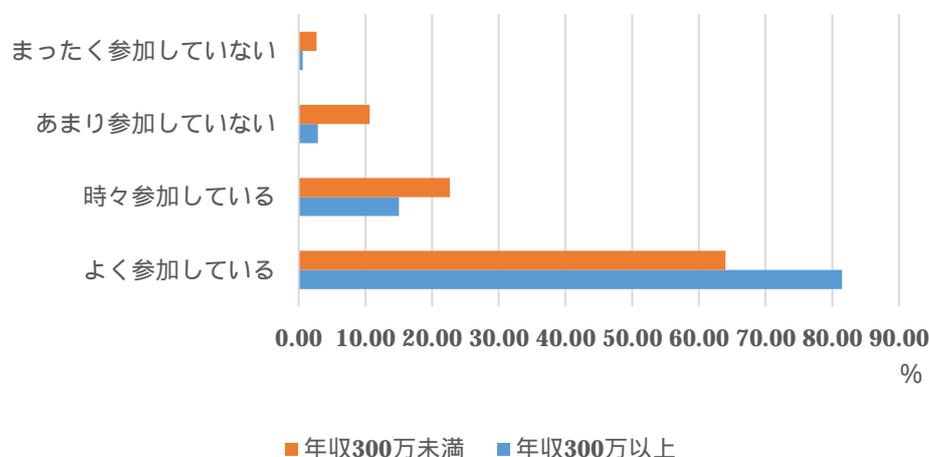
次に地域行事への参加状況について確認したところ（図14）、「まったく参加していない」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。

図14 地域行事への参加について



さらに、学校行事への参加状況について確認したところ(図15)、「よく参加している」で非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低かった。また、「あまり参加していない」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。

図15 学校行事への参加について



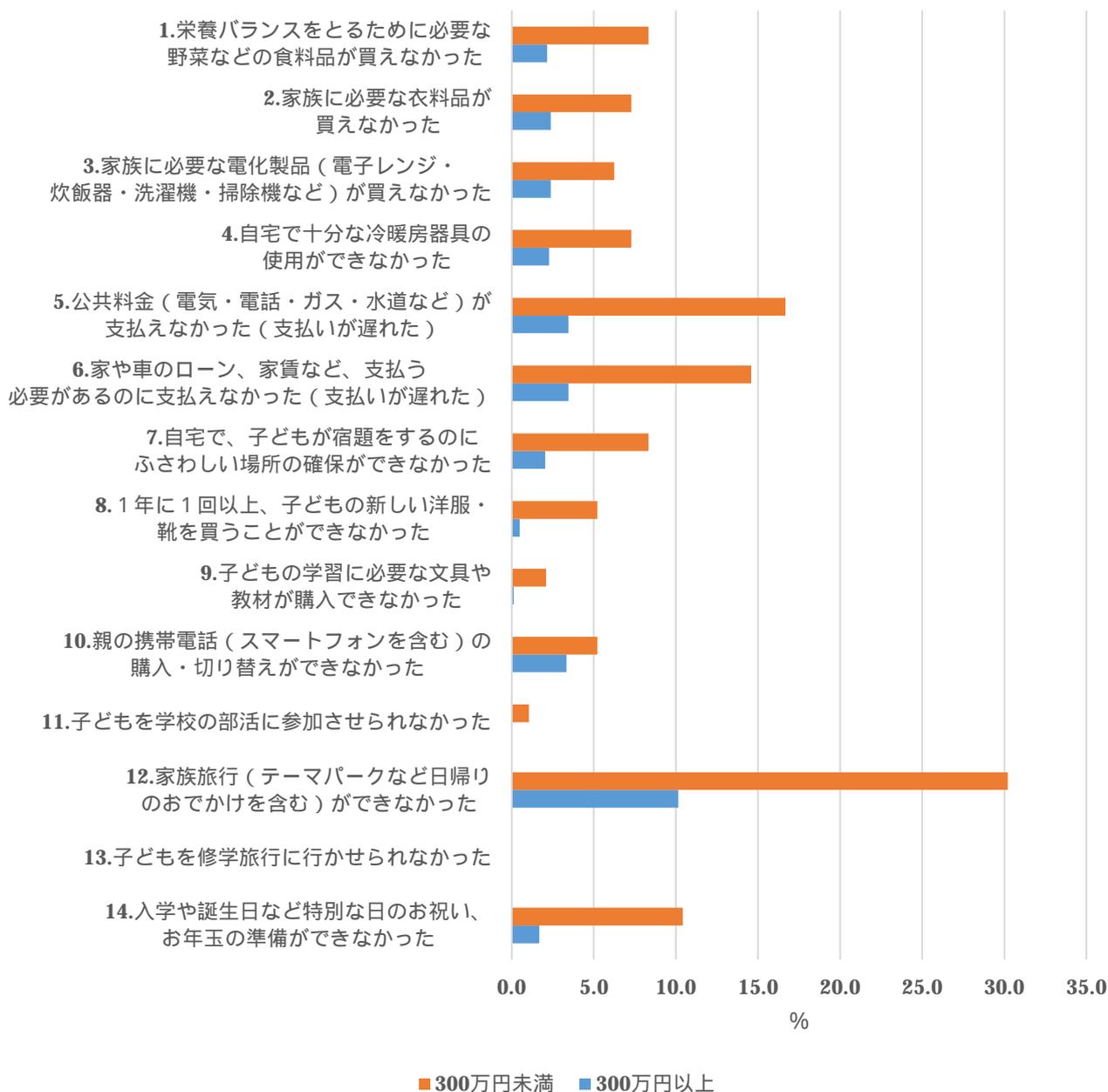
貧困世帯の保護者は、相対的に子育てに関する不安や悩みを相談できる相手が少なく、地域行事への参加や学校行事への参加の頻度が少ない傾向にある。

(9) 経済的理由による剥奪項目

図16は、経済的な理由にできなかった内容について集計したものである。貧困世帯の方がすべての項目で非貧困世帯の比率を上回っている。とりわけ、家族旅行ができなかったと回答した割合が高く、その次に公共料金、家や車のローンの未払い(あるいは滞納)で

あった。一方、高い割合ではないが、非貧困世帯であっても、経済的理由からできなかった内容が複数みられた。

図16 経済的理由からできなかった項目について



2. 子ども対象調査結果の概要

(1)生活状況

図 17 は、現在の生活は楽しいかどうかについて集計したものである。貧困世帯、非貧困世帯ともに違いはみられず、統計的にも有意差はなかった。

図17 生活満足度について

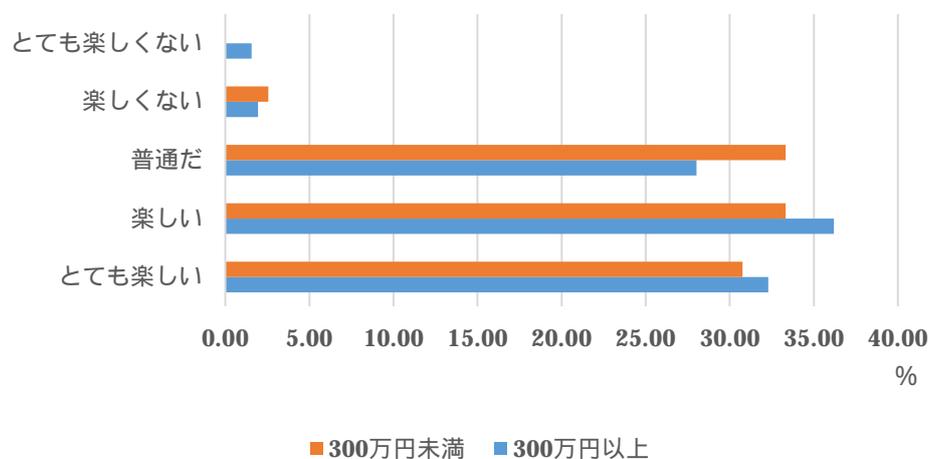
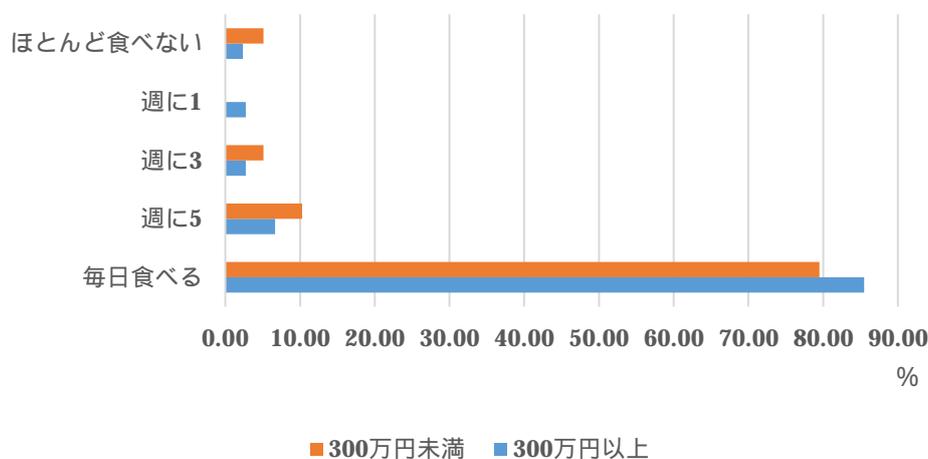


図 18 は、朝食の摂取状況について集計したものである。8 割の子どもは毎日朝食を摂っており、貧困世帯と非貧困世帯との間に有意な差はみられなかった。

図18 朝食の状況について



(2) 自己肯定感、学校、進路

図 19 は自分のことが好きかどうか（自己肯定感）について、図 20 は自信がなくなるときがあるかどうかについて集計したものである。

まず、自己肯定感について、自分のことが「とても好き」において非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低かった。

つぎに、自身がなくなるときがあるかどうかについて、「よくある」において非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。

図19 自己肯定感について

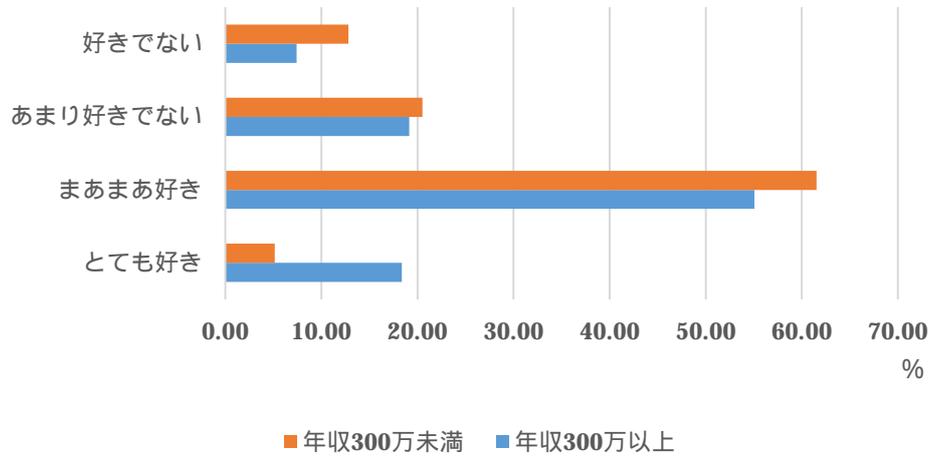


図20 自信喪失について

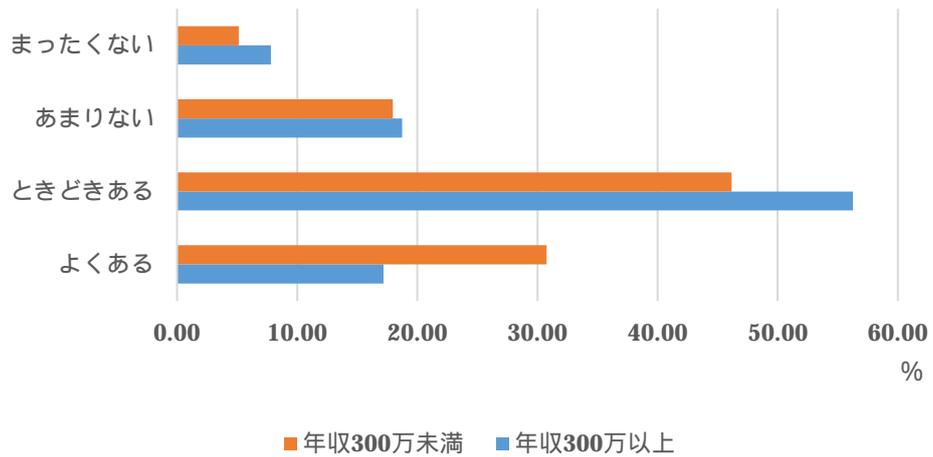
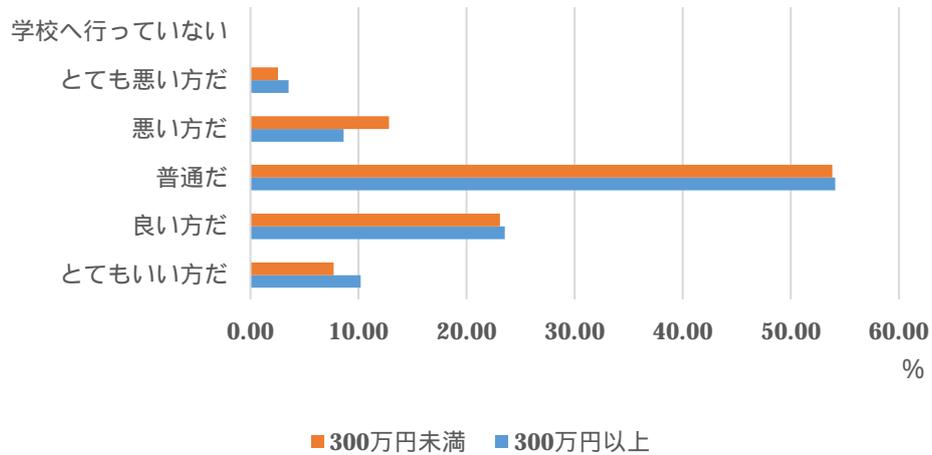


図 21 は、学校での成績について集計したものである。貧困世帯の子どもの方が非貧困世帯よりも自己肯定感や自信がやや低い傾向にあったが、学校での成績についてはその差異はみられず、統計的にも有意差はなかった。

図21 学校での成績について



子どもの中学卒業後の進路希望について、子ども自身の意向(図22)、保護者の意向(図23:保護者対象調査から)をそれぞれ集計した。まず子ども自身が希望する進路として、「専門学校」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。

つぎに、保護者の子どもに期待する進路として、「高等学校」と「専門学校」で非貧困世帯が有意に低く、貧困世帯が有意に高かった。また「大学」で非貧困世帯が有意に高く、貧困世帯が有意に低かった。子どもの中学卒業後の進路として、とりわけ貧困世帯の保護者は、相対的に高校あるいは専門学校を希望しており、大学進学を望んでいる割合が低い傾向にあるということがわかる。

図22 希望する進路について_子どもの意向

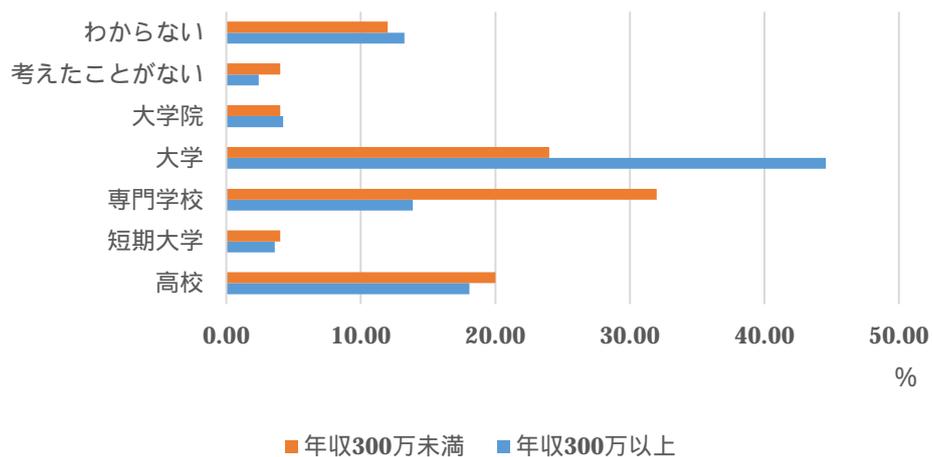
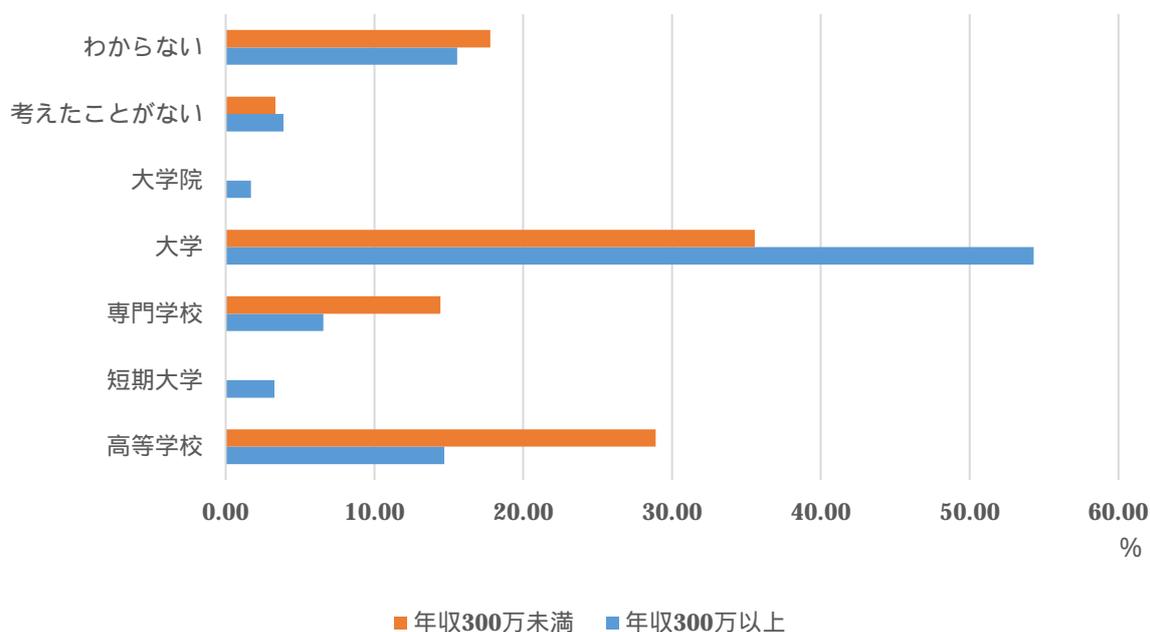


図23 希望する進路について_保護者の意向



(3) 塾や習い事、学習習慣

図24は、塾や習い事に通っているかどうかを集計したものである。貧困世帯の子どもの方が、非貧困世帯の子どもよりも塾や習い事に通っていないという結果になっており、統計的に有意であった。この結果は、保護者対象調査(図9)と同様の結果となっている。

図24 塾や習い事について

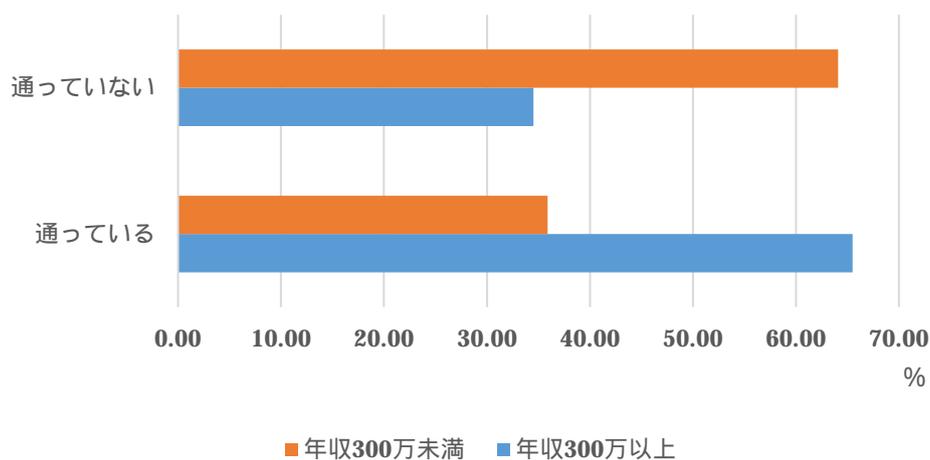


図25は学習時間を集計したもの、図26は読書時間を集計したものである。学習時間、読書時間ともに、貧困世帯と非貧困世帯との間に有意な差はみられなかった。

図25 学習時間について

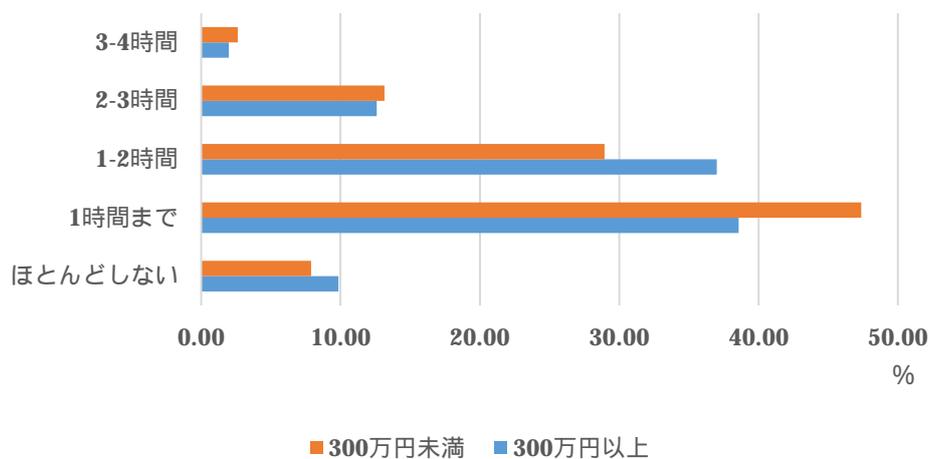
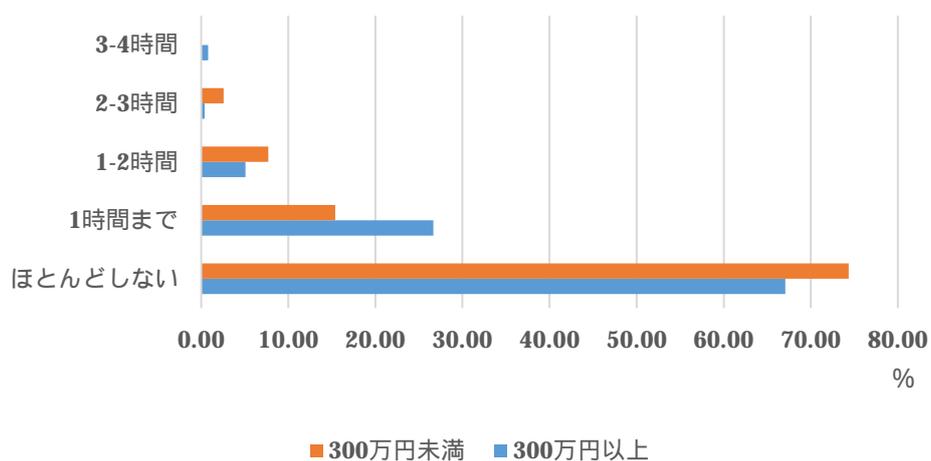


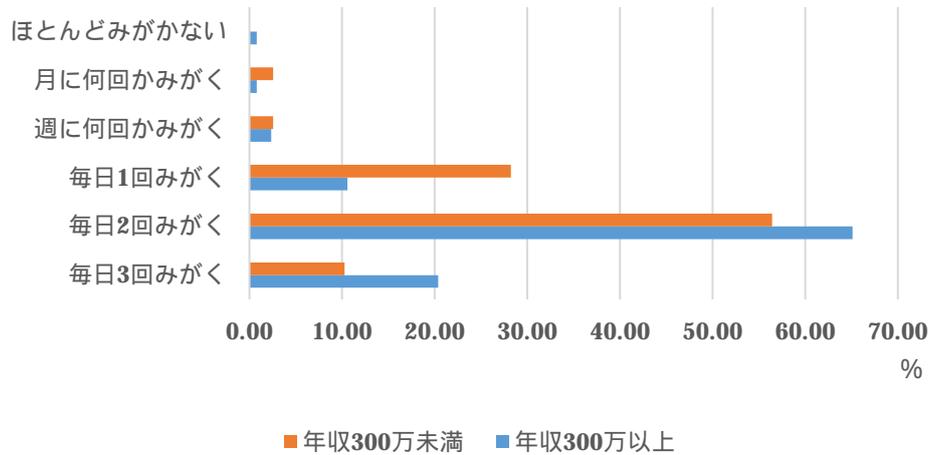
図26 読書時間について



(4) 健康状況

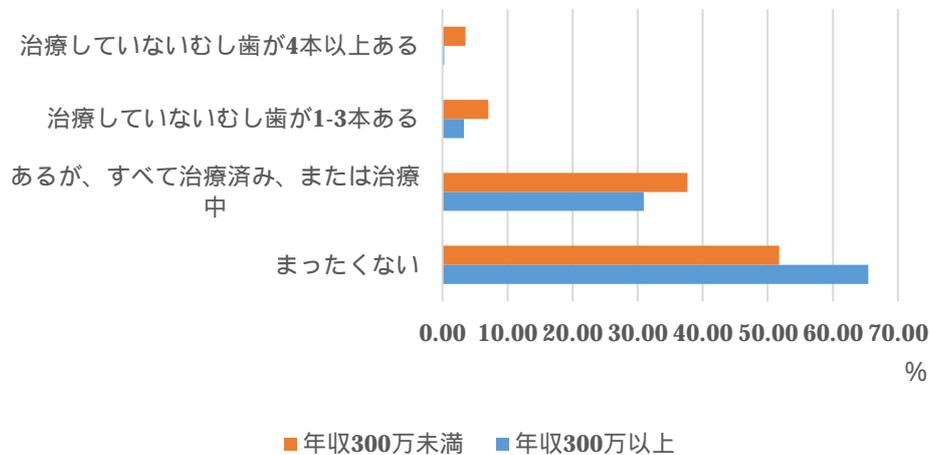
図 27 は、歯磨きの習慣について集計したものである。「毎日1回みがく」において、貧困世帯の子どもの方が、非貧困世帯の子どもよりも多く、有意差がみられた。

図27 歯磨きの習慣について



保護者対象調査において、子どもの歯の状況を確認した。図28はそれを集計したものである。むし歯が「まったくない」と回答した割合が、非貧困世帯の方が貧困世帯よりも高く、有意差がみられた。また、「治療していないむし歯が4本以上ある」と回答した割合が、非貧困世帯の方が貧困世帯よりも低く、有意差がみられた。

図28 子どもの歯の状態について



子どもの視力についても、保護者対象調査によって確認している。それを集計したものが図29である。「視力についてこれまで指摘されたことがあるが、受診しなかった」を回答した割合が、貧困世帯の方が非貧困世帯よりも高く、有意差がみられた。

図29 子どもの視力の状態について

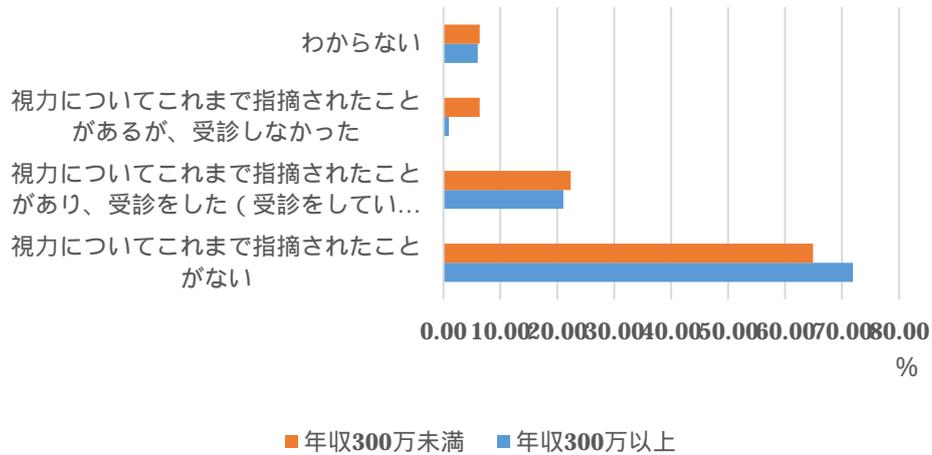
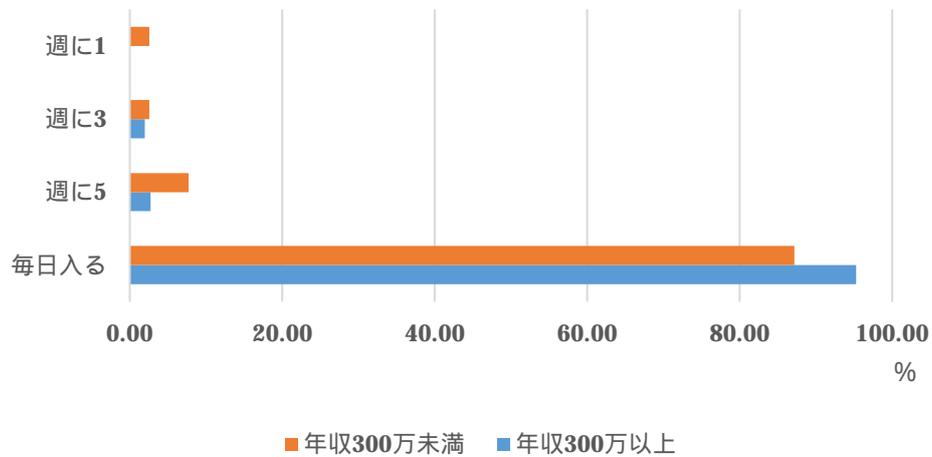


図30は、入浴の状況について集計したものである。「毎日入る」において、貧困世帯の子どもの方が、非貧困世帯の子どもよりも少なく、有意差がみられた。

図30 入浴の状況について



(5) その他の気づき

調査の結果、統計的な有意さが確認されず棄却されるような項目も散見された。しかしながら1人の子どもでも放置しないという考え方が大切できめ細かく対応する必要がある。子どもは、周囲に支えられるだけでなく人の役に立つことを実体験して成長することが大切であり、こうした環境にない子どもを放置しないという社会的コンセンサスが要請される。子どもが困難を乗り越え、自立して生きていけるように、支援策を地域全体で取り組んでいくことが期待される。

第8. 調査結果の概要

保護者対象調査および子ども対象調査の結果から、特徴的な傾向について、以下整理する。

- ・ 貧困世帯はひとり親世帯の割合が高い。
- ・ 雇用形態について、父親、母親ともに、非貧困世帯は正規雇用が多い。
- ・ 経済的な暮らしの状況について、貧困世帯は「大変苦しい」と感じている。
- ・ テレビやスマートフォンを利用する時間は、貧困世帯は「4時間以上」の割合が高い。
- ・ 子どもの朝食の摂取状況について、貧困世帯は「毎日食べる」割合が低い。なお、子ども対象調査では有意差はみられなかった。
- ・ 家族とのコミュニケーションについては、会話の頻度、あいさつともに、貧困世帯がやや少ない。
- ・ 塾や習い事は、貧困世帯の方が通っていない割合が高く、その理由として経済的な問題があげられる。
- ・ 保護者の健康状態について、父親では違いはみられなかったが、母親では貧困世帯の方が「悪い」と回答した割合が高い。
- ・ 子育てについて相談できる相手について、両世帯ともに「いる」と回答した割合が8割を超えている。一方で、「いない」と回答した割合が、貧困世帯の方が高かった。
- ・ 地域行事や学校行事への参加について、貧困世帯の方が参加する頻度が少ない傾向にある。
- ・ 経済的理由による剥奪内容については、全体的な傾向として、貧困世帯の方の割合が高い。なかでも家族旅行に行けないことが最も多く、公共料金やローンの支払いに困っている状況がある。
- ・ 子ども自身の生活満足度については、差はみられなかった。
- ・ 子どもの自己肯定感について、非貧困世帯の方が自身のことを「とても好き」と回答した割合が高い。また、自信がなくなるときがあるかどうかについては貧困世帯の方が「よくある」と回答した割合が高い。
- ・ 学校での成績については、差はみられなかった。
- ・ 希望する進路について、子ども自身が希望する進路として、貧困世帯の子どもは「専門学校」と回答した割合が高い。有意差はみられなかったが、非貧困世帯の子どもは「大学」と回答した割合が高い傾向にある。
- ・ 子どもの中学卒業後の進路として、貧困世帯の保護者は、相対的に高校あるいは専門学校を希望しており、大学進学を望んでいる割合が非貧困世帯よりも低い傾向がある。
- ・ 子どもの学習時間、読書時間ともに、貧困世帯よりも非貧困世帯の方が多い傾向にあるが、有意差はみられなかった。
- ・ 子どもの歯や視力の状況について、貧困世帯の子どもは、何らかの問題を抱えているが医療機関を受診していない可能性がある。

第9.政策的インプリケーション

(1)子どもの貧困に関する剥奪指標

子どもの貧困に関して、所得に基づく相対的貧困率は国際的にも認知されている貧困指標だが、これによる見える貧困の測定は完璧なものではない。相対的貧困率は、経済的状況に視座をおいているもので、所得がフローの概念であるため、所得以外の収入や支出が見えないといった理由があげられ、非経済的な要素が考慮されていない。これらの制約を補完するために剥奪指標による貧困の測定が取り入れられている。今後は「養育力」、「生活力」に視点を置いた指標を検討する必要がある。

現在、子どもの貧困率はやや改善されたとはいえ、先進国の中では依然高く深刻な水準にある。子どもの貧困対策法(2014)が施行されてから5年が経過した。貧しい家庭で生まれ育った子どもが将来、自らも貧しくなる「貧困の連鎖」を断ち切るために必要な取り組みは必ずしも十分に進んでいない。

本調査では「子どもの視点」から貧困を理解することに関する研究が少ないことから、子ども自身が貧困をどのように捉え、感じ理解しているかという視点に着眼している。これまでの先行研究を踏まえて子どもの貧困が継承されるさまざまな条件を探り、そのメカニズムを解明するための項目加えて分析したが限定的なものに留まった。

(2) エビデンスに基づく政策の必要性

格差社会の中、家庭を取り巻く社会経済状況の変化は大きく変容しており、子育て支援が社会的な要請となっている。支援を要する家庭が多くなっていることから「世帯が何を求めているのか」、「子どもの生活全般のどのような状況から実態が生じているのか」や子どもと保護者にどのようなニーズがあるのか明らかにする必要がある。

また、生活困窮者自立支援制度での支援策、「子どもの学習」支援や「子ども食堂」など全国的に展開されているさまざまな事業について、実態のみではなく継続的な調査研究が必要である。こうした調査結果により得られたデータに基づく政策の必要性が指摘される。しかし、解決すべき課題は一筋縄ではいかない困難なものであるが今後の政策展開する際の基本となる重要なプロセスと認識される。

おわりに

福知山市では、子どもの貧困対策について、第2期「福知山市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり平成29(2017)年度に「子どもの貧困対策検討部会」を設置し、審議を重ねてきた。

こうした先駆的な取り組みとして、福知山市ではハード面の量的拡充のみに注力するのではなく、子どもたちの権利の保障や子育て世帯が本当に求めていることを見極め、本来の目的の「子どもの貧困」が軽減若しくは解消され、すべての子どもたちが、生まれた育った環境によって将来が左右されることのないよう心身ともに健全に育む機会を担保していけるような計画の樹立に取り組んでいる。

すなわち子ども自身の努力の及ばないところの経済的支援が必要とされ、大人社会の責任でもある。行政が法律に基づいて取り組むことができるが限界もあり、課題を克服するためには公民が支援する人材や施設といった社会資源を最大限に活用するしか打開策はない。継続した地道な取り組みが、生活が苦しい家庭の子どもの成長を支える。

そうした背景を踏まえ本調査が実施されることとなった。福知山市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたっては、今般の生活実態調査結果を踏まえたエビデンスに基づく支援策の展開が望まれる。

子どもの貧困調査においては、子ども自身が貧困をどのように感じ理解しているかという「子どもの視点」から貧困を理解するといった視点からの研究は少ない。今後継続的な研究調査が必要で、さらに質的調査のアプローチによる子ども自身へのインタビュー調査が必要とされよう。

本調査にご協力をいただいた福知山市民及び関係者の皆様にごことより感謝申し上げます。この報告書を作成するにあたり、福祉保健部子ども政策室の職員の皆様方には大変ご助力いただきました。この紙面を借りて衷心より感謝申し上げます。

(注)

- 1.道中(2016)「第2版 貧困の世代間継承」が詳しい。
- 2.自己肯定感と自己有用感：自分にはいいところや役に立つところがあると感じる力。
- 3.道中(2006)「保護受給層の貧困の様相 保護受給世帯における貧困の固定化と世代的連鎖」『生活経済政策—特集都市の下層社会』no.127, August, 通巻543号,生活経済政策研究所。
- 4.道中(2015)『貧困の世代間継承 社会的不利益の連鎖を断つ』晃洋書房。

【参考文献】

- 青木紀(2003)『現代日本の「見えない」貧困 生活保護受給母子世帯の現実』明石書店。
- 道中隆(2006)「保護受給層の貧困の様相 保護受給世帯における貧困の固定化と世代的連鎖」『生活経済政策—特集都市の下層社会』no.127, August, 通巻543号,生活経済政策研究所。
- 道中隆(2009)『生活保護と日本型ワーキングプア 貧困の固定化と世代間継承』ミネルヴァ書房。
- 道中隆(2015)『貧困の世代間継承 社会的不利益の連鎖を断つ』晃洋書房。
- 道中隆(2016)『第2版貧困の世代間継承 社会的不利益の連鎖を断つ』晃洋書房。
- 浅井春夫/松本伊智朗/湯澤直美(2008)『子どもの貧困—子ども時代のしあわせ平等のために—』明石書店
- 埋橋孝文/矢野裕俊(2015)『子どもの貧困/不利/困難を考える 理論的アプローチと各国の取組み』ミネルヴァ書房。
- 埋橋孝文/大塩まゆみ/居神浩(2015)『子どもの貧困/不利/困難を考える 社会的支援をめぐる政策的アプローチ』ミネルヴァ書房。
- 埋橋孝文/矢野裕俊/田中聡子/三宅洋一(2015)『子どもの貧困/不利/困難を考える 施策に向けた総合的アプローチ』ミネルヴァ書房。

- 中塚久美子(2012)『貧困のなかでおとなになる』かもがわ出版.
- 西尾祐吾/上田純子訳(2019)『じゃあ、どうしろって言うのさ!ウエルフェア・マザーの素顔』
Susan Sheehan 『*A Welfare Mather by Susan Sheehan, 1975, American Library*』晃洋書
房.
- 松村智史(2016)「貧困世帯の子どもの学習支援事業の成り立ちと福祉・教育政策上の位置づ
けの変化」『社会福祉学』第57巻第2号,pp.43-56.2016
- 林明子(2016)『生活保護世帯の子どものライフストーリー—貧困の世代的再生産』勁草書房.
- 駒村康平(2018)『福祉+a 貧困』ミネルヴァ書房.

2020(令和2)年3月31日

関西国際大学教育学部教育福祉学科

福祉学専攻 道中 隆(代表)

山本 秀樹

尾崎 慶太

參考資料

福知山市子どもの生活状況などに関するアンケート

【保護者の方へ】

このアンケートは、小学4年生から高校3年生のお子さんを対象に実施するものでご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、目的以外に使用することはありません。

回答は、宛名のお子さん本人に記入いただくようお願いします。

なお、お子さんによる記入が終わりましたら、そのまま保護者アンケートとともにご返送ください。記入漏れの有無など、回答内容を点検いただく必要はありません。

アンケートを回答するお子さんへ

このアンケートは、みなさんが住んでいる福知山市を良くしていくために、生活、学習、今の気持ちなどについてお聞きします。

このアンケートは、あなたの名前を書く必要はありません。

回答は、友達や先生に相談せず、自分の考えていることを正直に答えてください。

回答したくない場合は、回答しなくてもよいです。意味がわからない質問や、回答したくない質問は、回答せずに次の質問に進んでください。

あなたの回答を、先生や友達がみることはありません。

書き終わったアンケートは、「子ども用」と書いてある封筒に入れて、おうちの人に渡してください。

<アンケートに関する問い合わせ先>

福知山市福祉保健部子ども政策室

担当：高山・原田

問1 あなたは何年生ですか？()内に数字を書いてください。
()年生

問2 学校生活は楽しいですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 とても楽しい
- 2 楽しい
- 3 普通だ
- 4 つまらない
- 5 とてもつまらない

問3 自分のことが好きですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 とても好き
- 2 まあまあ好き
- 3 あまり好きでない
- 4 好きでない

問4 自分に自信がなくなるときがありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 よくある
- 2 ときどきある
- 3 あまりない
- 4 まったくない

問5 困ったとき、だれに相談しますか？当てはまる番号すべてに をつけてください。

- 1 家族の人
- 2 親せきの人
- 3 友達
- 4 学校の先生
- 5 塾や習い事の先生
- 6 近所の人
- 7 友達の親
- 8 その他()
- 9 相談しない(又はできない)

問6 あなたの将来の夢はありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 ある
- 2 今はない
- 3 わからない

問7 おうちの人とどれくらい会話をしますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 毎日する
- 2 週に5、6回はする
- 3 週に3、4回はする
- 4 週に1、2回はする
- 5 ほとんどしない

問8 おうちの人と一緒に出かけることはありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 よく出かける
- 2 ときどき出かける
- 3 あまり出かけない
- 4 ほとんど出かけない

問9 おうちのお手伝いをどれくらいしますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日する | 2 週に5、6回はする |
| 3 週に3、4回はする | 4 週に1、2回はする |
| 5 ほとんどしない | |

問10 おうちの人と「おはよう」「おやすみなさい」「行ってきます」などのあいさつをしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 よくする | 2 ときどきする |
| 3 あまりしない | 4 ほとんどしない |

問11 学校がある日の朝、何時くらいに起きていますか？()内に数字(時間)を書いてください。

()時()分くらい

問12 おうちの人に、朝起こしてもらいますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 毎日起こしてもらおう | 2 週に5、6回起こしてもらおう |
| 3 週に3、4回起こしてもらおう | 4 週に1、2回起こしてもらおう |
| 5 ほとんど起こしてもらわない | |

問13 学校に遅刻することがありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 遅刻しない | 2 週に1、2回遅刻する |
| 3 週に3、4回遅刻する | 4 ほぼ毎日遅刻する |
| 5 ほとんど学校へ行っていない | |

問14 次の日学校がある日の夜、何時くらいに寝ていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 8時～9時くらい | 2 9時～10時くらい |
| 3 10時～11時くらい | 4 11時～12時くらい |
| 5 12時よりも遅い | |

問15 朝ごはんを1週間にどれくらい食べますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日食べる | 2 週に5、6回食べる |
| 3 週に3、4回食べる | 4 週に1、2回食べる |

5 ほとんど食べない

問16 毎日朝ごはんを食べない人にお聞きします。食べない理由はなんですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 時間がない | 2 お腹がすいていない |
| 3 朝ごはんが用意されていない | 4 朝ごはんを食べる習慣がない |
| 5 わからない | |

問17 学校が休みの日に昼ごはんを食べますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 必ず食べる | 2 食べることが多い |
| 3 食べないことが多い | 4 ほとんど食べない |

問18 学校が休みの日に、毎日昼ごはんを食べない人にお聞きします。食べない理由はなんですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 お腹がすいていない | 2 昼ごはんが用意されていない |
| 3 わからない | |
| 4 その他（ | ） |

問19 歯みがきはどれくらいしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日3回みがく | 2 毎日2回みがく |
| 2 毎日1回みがく | 3 週になん回かみがく |
| 4 月になん回かみがく | 5 ほとんどみがかない |

問20 お風呂にはどれくらい入っていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。（シャワーを含む）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日入る | 2 週に5、6日は入る |
| 3 週に3、4日は入る | 4 週に1、2日は入る |
| 5 ほとんど入らない | |

問21 学校のある日、家で1日どれくらい勉強をしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 ほとんどしない | 2 1時間まで |
| 3 1時間～2時間 | 4 2時間～3時間 |
| 5 3時間～4時間 | 5 4時間より多い |

問22 学校の成績はどうですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------|--------|
| 1 とてもいい方だ | 2 いい方だ |
| 3 普通だ | 4 悪い方だ |
| 5 とても悪い方だ | |

問2 3 塾や習い事(英会話、ピアノ、そろばん、習字、スポーツ少年団など)に通っていますか?当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 通っている
- 2 通っていない

問2 4 塾や習い事に通っていない人にお聞きします。その理由はなんですか?当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 通いたいと思わない
- 2 通いたいが、おうちの人と意見が合わない
- 3 通いたいが、おうちの人にお金の負担をかけられない
- 4 特に理由はない
- 5 その他()

ご協力ありがとうございました。

(中学生用)

福知山市子どもの生活状況などに関するアンケート

【保護者の方へ】

このアンケートは、小学4年生から高校3年生のお子さんを対象に実施するもので、ご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、目的以外に使用することはありません。

回答は、宛名のお子さん本人に記入いただくようお願いいたします。

なお、お子さんによる記入が終わりましたら、そのまま保護者アンケートとともにご返送ください。記入漏れの有無など、回答内容を点検いただく必要はありません。

アンケートを回答するお子さんへ

このアンケートは、みなさんが住んでいる福知山市を良くしていくために、生活、学習、今の気持ちなどについてお聞きします。

このアンケートは、あなたの名前を書く必要はありません。

回答は、友達や先生に相談せず、自分の考えていることを正直に答えてください。

回答したくない場合は、回答しなくてもよいです。意味がわからない質問や、回答したくない質問は、回答せずに次の質問に進んでください。

あなたの回答を、先生や友達がみることはありません。

書き終わったアンケートは、「子ども用」と書いてある封筒に入れて、おうちの人に渡してください。

< アンケートに関する問い合わせ先 >

福知山市福祉保健部子ども政策室

担当：高山・原田

電話：0773-24-7055 Fax：0773-23-7011

問1 あなたは何年生ですか？ () 内に数字を書いてください。
() 年生

問2 学校生活は楽しいですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------|---------|
| 1 とても楽しい | 2 楽しい |
| 3 普通だ | 4 つまらない |
| 5 とてもつまらない | |

問3 自分のことが好きですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1 とても好き | 2 まあまあ好き |
| 3 あまり好きでない | 4 好きでない |

問4 自分に自信がなくなるときがありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 2 ときどきある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |

問5 困ったとき、だれに相談しますか？当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | | |
|-----------------|------------|--------|
| 1 家族の人 | 2 親せきの人 | 3 友達 |
| 4 学校の先生 | 5 塾や習い事の先生 | 6 近所の人 |
| 7 友達の親 | 8 その他 () | |
| 9 相談しない(又はできない) | | |

問6 あなたの将来の夢はありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 ある | 2 今はない |
| 3 わからない | |

問7 おうちの人とどれくらい会話をしますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日する | 2 週に5、6回はする |
| 3 週に3、4回はする | 4 週に1、2回はする |
| 5 ほとんどしない | |

問8 おうちの人と一緒に出かけるとはありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よく出かける | 2 ときどき出かける |
| 3 あまり出かけない | 4 ほとんど出かけない |

問9 おうちのお手伝いをどれくらいしますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

さい。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日する | 2 週に5、6回はする |
| 3 週に3、4回はする | 4 週に1、2回はする |
| 5 ほとんどしない | |

問10 おうちの人と「おはよう」「おやすみなさい」「行ってきます」などのあいさつをしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 よくする | 2 ときどきする |
| 3 あまりしない | 4 ほとんどしない |

問11 学校がある日の朝、何時くらいに起きていますか？()内に数字(時間)を書いてください。

()時()分くらい

問12 おうちの人に、朝起こしてもらいますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 毎日起こしてもらう | 2 週に5、6回起こしてもらう |
| 3 週に3、4回起こしてもらう | 4 週に1、2回起こしてもらう |
| 5 ほとんど起こしてもらわない | |

問13 学校に遅刻することがありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 遅刻しない | 2 週に1、2回遅刻する |
| 3 週に3、4回遅刻する | 4 ほぼ毎日遅刻する |
| 5 ほとんど学校へ行っていない | |

問14 次の日学校がある日の夜、何時くらいに寝ていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 8時～9時くらい | 2 9時～10時くらい |
| 3 10時～11時くらい | 4 11時～12時くらい |
| 5 12時よりも遅い | |

問15 朝ごはんを1週間にどれくらい食べますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日食べる | 2 週に5、6回食べる |
| 3 週に3、4回食べる | 4 週に1、2回食べる |
| 5 ほとんど食べない | |

問16 毎日朝ごはんを食べない人にお聞きします。食べない理由はなんですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 時間がない | 2 お腹がすいていない |
| 3 朝ごはんが用意されていない | 4 朝ごはんを食べる習慣がない |
| 5 わからない | |

問17 学校が休みの日に昼ごはんを食べますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 必ず食べる | 2 食べることが多い |
| 3 食べないことが多い | 4 ほとんど食べない |

問18 学校が休みの日に、毎日昼ごはんを食べない人にお聞きします。食べない理由はなんですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 お腹がすいていない | 2 昼ごはんが用意されていない |
| 3 わからない | |
| 4 その他() | |

問19 歯みがきはどれくらいしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日3回みがく | 2 毎日2回みがく |
| 2 毎日1回みがく | 3 週になん回かみがく |
| 4 月になん回かみがく | 5 ほとんどみがかない |

問20 お風呂にはどれくらい入っていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。(シャワーを含む)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日入る | 2 週に5、6日は入る |
| 3 週に3、4日は入る | 4 週に1、2日は入る |
| 5 ほとんど入らない | |

問21 学校のある日、家で1日どれくらい勉強をしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 ほとんどしない | 2 1時間まで |
| 3 1時間～2時間 | 4 2時間～3時間 |
| 5 3時間～4時間 | 5 4時間より多い |

問22 学校の成績はどうですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------|--------|
| 1 とてもいい方だ | 2 いい方だ |
| 3 普通だ | 4 悪い方だ |
| 5 とても悪い方だ | |

問23 塾や習い事(英会話、ピアノ、そろばん、習字、クラブなど)に通っていますか?
当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 通っている
- 2 通っていない

問24 塾や習い事に通っていない人にお聞きします。その理由はなんですか?当てはまる
番号1つに をつけてください。

- 1 通いたいと思わない
- 2 クラブ活動や部活が忙しくて通えない
- 3 通いたいが、おうちの人と意見が合わない
- 4 通いたいが、おうちの人にお金の負担をかけられない
- 5 特に理由はない
- 6 その他()

問25 進学について、どこまで希望しますか?当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | | |
|------------|---------|--------|
| 1 中学校 | 2 高校 | 3 短期大学 |
| 4 専門学校 | 5 大学 | 6 大学院 |
| 7 考えたことがない | 8 わからない | |

問26 問25で「1～6」に をつけた人にお聞きします。希望する進学に向けて心配は
ありますか?当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1 必要な学力(勉強) | 2 友達とのつながり | 3 おうちの人意見 |
| 4 必要なお金 | 5 考えたことがない | 6 わからない |

ご協力ありがとうございました。

(中学を卒業した子ども用)

福知山市子どもの生活状況などに関するアンケート

【保護者の方へ】

このアンケートは、小学4年生から高校3年生のお子さんを対象に実施するものでご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、目的以外に使用することはありません。

回答は、宛名のお子さん本人に記入いただくようお願いします。

なお、お子さんによる記入が終わりましたら、そのまま保護者アンケートとともにご返送ください。記入漏れの有無など、回答内容を点検いただく必要はありません。

アンケートを回答するお子さんへ

このアンケートは、みなさんが住んでいる福知山市を良くしていくために、生活、学習、今の気持ちなどについてお聞きします。

このアンケートは、あなたの名前を書く必要はありません。

回答は、友達や先生に相談せず、自分の考えていることを正直に答えてください。

回答したくない場合は、回答しなくてもよいです。意味がわからない質問や、回答したくない質問は、回答せずに次の質問に進んでください。

あなたの回答を、先生や友達がみることはありません。

書き終わったアンケートは、「子ども用」と書いてある封筒に入れて、家の人に渡してください。

< アンケートに関する問い合わせ先 >

福知山市福祉保健部子ども政策室

担当：高山・原田

電話：0773-24-7055 F a x : 0773-23-7011

問1 あなたは何歳ですか？()内に数字を書いてください。
()歳

問2 毎日の生活は楽しいですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------|---------|
| 1 とても楽しい | 2 楽しい |
| 3 普通だ | 4 つまらない |
| 5 とてもつまらない | |

問3 自分のことが好きですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1 とても好き | 2 まあまあ好き |
| 3 あまり好きでない | 4 好きでない |

問4 自分に自信がなくなるときがありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 2 ときどきある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |

問5 困ったとき、だれに相談しますか？当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | | |
|-----------------|------------|--------|
| 1 家族の人 | 2 親せきの人 | 3 友達 |
| 4 学校の先生 | 5 塾や習い事の先生 | 6 近所の人 |
| 7 友達の親 | 8 その他() | |
| 9 相談しない(又はできない) | | |

問6 あなたの将来の夢はありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 ある | 2 今はない |
| 3 わからない | |

問7 家の人とどれくらい会話をしますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日する | 2 週に5、6回はする |
| 3 週に3、4回はする | 4 週に1、2回はする |
| 5 ほとんどしない | |

問8 家の人と一緒に出かけることはありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よく出かける | 2 ときどき出かける |
| 3 あまり出かけない | 4 ほとんど出かけない |

問9 家の手伝いをどれくらいしますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日する | 2 週に5、6回はする |
| 3 週に3、4回はする | 4 週に1、2回はする |
| 5 ほとんどしない | |

問10 家の人と「おはよう」「おやすみなさい」「行ってきます」などのあいさつをしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 よくする | 2 ときどきする |
| 3 あまりしない | 4 ほとんどしない |

問11 普段、朝は平均して何時くらいに起きていますか？()内に数字(時間)を書いてください。

()時()分くらい

問12 家の人に、朝起こしてもらいますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 毎日起こしてもらう | 2 週に5、6回起こしてもらう |
| 3 週に3、4回起こしてもらう | 4 週に1、2回起こしてもらう |
| 5 ほとんど起こしてもらわない | |

問13 学校(又は仕事)に遅刻することがありますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 遅刻しない | 2 週に1、2回遅刻する |
| 3 週に3、4回遅刻する | 4 ほぼ毎日遅刻する |
| 5 ほとんど学校(又は仕事)に行っていない | |

問14 普段、夜は平均して何時くらいに寝ていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 9時～10時くらい | 2 10時～11時くらい |
| 3 11時～12時くらい | 4 12時～1時くらい |
| 5 1時～2時くらい | 6 2時以降 |

問15 朝ごはんを1週間にどれくらい食べますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日食べる | 2 週に5、6回食べる |
| 3 週に3、4回食べる | 4 週に1、2回食べる |
| 5 ほとんど食べない | |

問16 毎日朝ごはんを食べない人にお聞きします。食べない理由はなんですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 時間がない | 2 お腹がすいていない |
| 3 朝ごはんが用意されていない | 4 朝ごはんを食べる習慣がない |
| 5 わからない | |

問17 学校(又は仕事)が休みの日に昼ごはんを食べますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 必ず食べる | 2 食べることが多い |
| 3 食べないことが多い | 4 ほとんど食べない |

問18 学校(又は仕事)が休みの日に、毎日昼ごはんを食べない人にお聞きします。食べない理由はなんですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 お腹がすいていない | 2 昼ごはんが用意されていない |
| 3 わからない | |
| 4 その他() | |

問19 歯みがきはどれくらいしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日3回みがく | 2 毎日2回みがく |
| 2 毎日1回みがく | 3 週になん回かみがく |
| 4 月になん回かみがく | 5 ほとんどみがかない |

問20 お風呂にはどれくらい入っていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。(シャワーを含む)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎日入る | 2 週に5、6日は入る |
| 3 週に3、4日は入る | 4 週に1、2日は入る |
| 5 ほとんど入らない | |

問21 普段、家で1日どれくらい勉強をしていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 ほとんどしない | 2 1時間まで |
| 3 1時間～2時間 | 4 2時間～3時間 |
| 5 3時間～4時間 | 5 4時間より多い |

問22 学校の成績はどうですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|-----------|--------|
| 1 とてもいい方だ | 2 いい方だ |
|-----------|--------|

- 3 普通だ
- 4 悪い方だ
- 5 とても悪い方だ
- 6 学校へ行っていない

問23 塾や習い事(英会話、ピアノ、そろばん、習字、クラブなど)に通っていますか?
当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 通っている
- 2 通っていない

問24 塾や習い事に通っていない人にお聞きします。その理由はなんですか?当てはまる
番号1つに をつけてください。

- 1 通いたいと思わない(必要性を感じない)
- 2 クラブ活動や部活が忙しくて通えない
- 3 通いたいが、おうちの人と意見が合わない
- 4 通いたいが、おうちの人にお金の負担をかけられない
- 5 特に理由はない
- 6 その他()

問25 進学について、どこまで希望しますか(していましたか)?当てはまる番号1つに
をつけてください。

- 1 中学校(中学卒業後就職)
- 2 高校
- 3 短期大学
- 4 専門学校
- 5 大学
- 6 大学院
- 7 考えたことがない
- 8 わからない

問26 あなたは「問25」のとおり進んでいくと思いますか(進んでいきましたか)?
当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 思う(又は進んだ)
- 2 思わない(又は進まなかった)
- 3 わからない

問27 問26で「2 思わない(又は進まなかった)」に をつけた人にお聞きします。
その理由は何ですか?当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 必要な学力を備えていない
- 2 友達とのつながりに不安がある
- 3 おうちの人と意見が合わない
- 4 経済的に厳しいと感じる
- 5 考えたことがない
- 6 わからない

問28 あなたはアルバイトをしていますか?当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

問29 問28で「1 はい」に をつけた人にお聞きします。アルバイトの頻度と時間についてお聞きします。当てはまる番号1つに をつけてください。また、頻度については、〔 〕内の番号1つに をつけてください。

< 頻度 >

- | | | | | |
|---|-----------|---|----------|----------|
| 1 | 定期的に働いている | 〔 | ほぼ毎日 | 1週間に5～6回 |
| | | | 1週間に3～4回 | 1週間に1～2回 |
| | | | 月に数回程度 | 〕 |
| 2 | 不定期に働いている | 〔 | 長期休みの期間 | |
| | | | その他(|)〕 |

< 1日の平均した勤務時間 >

- | | | | |
|---|-------|---|-------|
| 1 | 1時間未満 | 2 | 1～2時間 |
| 3 | 2～3時間 | 4 | 3～4時間 |
| 5 | 4～5時間 | 6 | 5～6時間 |
| 7 | 6時間以上 | | |

問30 問28で「1 はい」に をつけた人にお聞きします。アルバイトをしている目的は何ですか？当てはまる番号すべてに をつけてください。

- 1 レジャーや買い物など自分のため
- 2 友達とのつきあいのため
- 3 家族の生活費を援助するため
- 4 自分の学費を払うため
- 5 その他()

ご協力ありがとうございました。

福知山市子どもの生活状況などに関するアンケート

市民のみなさまへ

アンケートへのご協力をお願い

～全ての子どもが、その将来に夢や希望をもって
成長していける社会を目指して～

このアンケートは、「保護者のお子さんとの関わり」「お子さんへの将来展望」
「みなさんの健康状態や経済状況」など、ご家庭の状況をお聞きするものです。

アンケートにより現状を把握し、今後の子ども・子育て支援について検討する
ための、参考資料とさせていただきます。

このアンケートは、関西国際大学教育学部教育福祉学科に返送され、情報処理
が行われます。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、アンケートの趣旨をご理解いた
だき、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

平成31年5月

福知山市福祉保健部子ども政策室

【ご回答にあたってのお願い】

- ・このアンケートは宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- ・あなたのお考えに近い項目がない質問、答えられない質問、あるいは答えたくない質問があった場合は、空白のままで次の質問へお進みください。
- ・ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、個人が特定されることは一切ありません。また、アンケートの目的以外に使用することはありません。

<アンケートに関する問い合わせ先>

福知山市福祉保健部子ども政策室

担当：高山・原田

電話：0773-24-7055 F a x：0773-23-7011

問1 このアンケートを回答されている方は、あて名のお子さんからみてどなたにあたりますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 お母さん
- 2 お父さん
- 3 その他 ()

問2 あて名のお子さんが同居している家族について、あてはまる番号すべてに をつけてください。

あて名のお子さんからみてどなたにあたるかを選んでください。

- 1 お母さん
- 2 お父さん
- 3 おばあさん
- 4 おじいさん
- 5 兄弟姉妹
- 6 その他 ()

問3 あて名のお子さんは何人家族ですか。あて名のお子さんを含めて、人数を数字でご記入ください。

()人

問4 あて名のお子さんが共に生活しているすべてのお子さんの年齢を記入してください。

あて名のお子さん ()歳

その他のお子さん ()歳 ()歳 ()歳
()歳 ()歳 ()歳

問5 あなたに配偶者(婚姻関係のある人)はおられますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない
- 3 その他 ()

問6 あて名のお子さんと生計を共にしている方全員の、一か月あたりの収入をお答えください。おおよその金額を数字でご記入ください。

働いて得た収入 ()円

仕送りによる収入 ()円

児童手当・児童扶養手当・雇用保険などの給付金 ()円

障害年金などの公的年金 ()円

その他の収入 ()円

問7 あて名のお子さんと生計を共にしている方全員の1年間の収入を合わせた「世帯全体の収入」をお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

収入とは、給与（ボーナスも含む）や事業の売上のほか、児童手当・児童扶養手当・雇用保険などの給付金、障害年金などの公的年金、生活保護、養育費、親などからの支援などの収入の総計です。

- | | | | |
|----|-------------|----|-------------|
| 1 | 0円 | 2 | 1～50万円未満 |
| 3 | 50～100万円未満 | 4 | 100～150万円未満 |
| 5 | 150～200万円未満 | 6 | 200～250万円未満 |
| 7 | 250～300万円未満 | 8 | 300～400万円未満 |
| 9 | 400～500万円未満 | 10 | 500～600万円未満 |
| 11 | 600～700万円未満 | 12 | 700～800万円未満 |
| 13 | 800～900万円未満 | 14 | 900万円以上 |
| 15 | わからない | | |

問8 あなたのご家庭で利用されている制度や手当などがあれば、当てはまる番号全てに をつけてください。

- 1 児童手当（子ども手当）
- 2 児童扶養手当（ひとり親世帯で支給決定を受けた方）
- 3 特別児童扶養手当
- 4 公的年金（障害年金、遺族年金、基礎年金 など）
- 5 就学援助制度
- 6 生活保護制度

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況をお聞かせください。

1と回答いただいた方は、〔 〕内の ～ のうち当てはまる番号を で囲んでください。

産前産後休暇・育児休暇・介護休暇など休暇中の場合は「1」と回答してください。

現在、ひとりでお子さんを育てておられる場合は当てはまる方だけに をつけてください。

お母さん・お父さん以外の方が親代わりをされている場合は、その役割に準じてご記入ください。

例)おばあさんが母に代わってあて名のお子さんを育てておられる場合は<お母さん>の欄に記入。

<お母さん>

1 働いている

〔 正規職員 非正規職員で1か所に勤務
非正規職員で2か所以上に勤務
その他（ ） 〕

2 働いていない

<お父さん>

〔 〕

- 1 働いている 正規職員 非正規職員で1か所に勤務
非正規職員で2か所以上に勤務
その他()

2 働いていない

問10 あて名のお子さんの保護者が家に帰る時間帯で、多い時間帯を選んでください。
現在、ひとりでお子さんを育てておられる場合は当てはまる方だけに をつけてください。
お母さん・お父さん以外の方が親代わりをされている場合は、その役割に準じてご記入ください。

例)おばあさんが母に代わってあて名のお子さんを育てておられる場合は<お母さん>の欄に記入。

<お母さん>

- 1 お子さんの保育園・幼稚園・学校からの帰宅時間には家にいる(一緒に帰る。)
- 2 お子さんの夕食時間には家にいる
- 3 お子さんの寝る時間には家にいる
- 4 お子さんが寝た後に帰る
- 5 保護者の方の帰宅時間が決まっていない
- 6 その他()

<お父さん>

- 1 お子さんの保育園・幼稚園・学校からの帰宅時間には家にいる(一緒に帰る。)
- 2 お子さんの夕食時間には家にいる
- 3 お子さんの寝る時間には家にいる
- 4 お子さんが寝た後に帰る
- 5 保護者の方の帰宅時間が決まっていない
- 6 その他()

問11 あなたは、ご家庭の現在の経済的な暮らしの状況をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 普通
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

問12 あなたのご家庭では、毎日の生活において子育てにかかる時間やお金などについてどのようにお考えですか。当てはまる番号1つに をつけてください。

<時間について>

- 1 優先している
- 2 できるなら優先したいが、できない理由がある
- 3 他に優先すべきことがある

4 わからない

<お金について>

- 1 優先している
- 2 できるなら優先したいが、できない理由がある
- 3 他に優先すべきことがある
- 4 わからない

問13 あて名のお子さんが3歳以上の場合にお伺いします。あて名のお子さんは、規則正しく生活のリズムができていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 できている
- 2 どちらかというとできている
- 3 どちらかというとできていない
- 4 できていない

問14 あて名のお子さんが、家でテレビゲームやスマートフォンを利用したり、テレビやDVDなどを見ている時間は平日(月～金)1日でどれくらいですか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 まったくしない(見ない)
- 2 1時間未満
- 3 1～2時間
- 4 2～3時間
- 5 3～4時間
- 6 4時間以上
- 7 わからない
- 8 持っていない(家がない)

問15 あて名のお子さんが1歳以上の場合にお伺いします。あて名のお子さんは、朝ごはんを1週間にどれくらい食べますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 毎日食べる
- 2 週に5、6回食べる
- 3 週に3、4回食べる
- 4 週に1、2回食べる
- 5 ほとんど食べない

問16 あなたのご家庭では、あて名のお子さんは夕食をいつもどのような形でとっていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 家族そろって食べる
- 2 大人の家族の誰かと食べる
- 3 子どもだけで食べる
- 4 一人で食べる
- 5 その他()

問17 あて名のお子さんが小学生以上の場合にお伺いします。あて名のについて、もっとも近いもの1つに をつけてください。

- 1 ほぼ毎日通っている
- 2 欠席は年間30日未満である
- 3 欠席は年間30日以上、60日未満である
- 4 欠席は年間60日以上、1年未満である

- 5 欠席が1年以上続いている
- 6 わからない

問18 あて名のお子さんが小学生以上の場合にお伺いします。あて名のお子さんは、現在、塾や習い事(学校以外のクラブなどを含む)に通っていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

2と回答いただいた方は、〔 〕内の ~ のうちあてはまる番号を で囲んでください。

- 1 通っている
 - 2 通っていない
- 〔 経済的に通えない 通う必要性を感じない
通う必要性を感じるが子どもが希望しない 〕

問19 保護者のことについてお伺いします。最後に通った学校について、当てはまる番号1つに をつけてください。

現在、ひとりでお子さんを育てておられる場合は当てはまる方だけに をつけてください。

<お母さん>

- 1 中学校卒業
- 2 高等学校中退
- 3 高等学校卒業
- 4 高専、短大、専門学校卒業
- 5 大学卒業
- 6 大学院修了
- 7 その他の教育機関卒業 ()
- 8 答えたくない

<お父さん>

- 1 中学校卒業
- 2 高等学校中退
- 3 高等学校卒業
- 4 高専、短大、専門学校卒業
- 5 大学卒業
- 6 大学院修了
- 7 その他の教育機関卒業 ()
- 8 答えたくない

問20 あなたは、あて名のお子さんの教育について、どこまで希望されていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 中学校
- 2 高等学校
- 3 短期大学
- 4 専門学校
- 5 大学
- 6 大学院
- 7 考えたことがない
- 8 わからない

問21 あなたは、あて名のお子さんが「問20」のとおり進学すると思いますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 思う

問25 あて名のお子さんが1歳以上の場合にお伺いします。あて名のお子さんはむし歯がありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 まったくない
- 2 あるが、すべて治療済み、または治療中
- 3 治療していないむし歯が1～3本ある
- 4 治療していないむし歯が4本以上ある

問26 あて名のお子さんの視力についてお伺いします。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 視力についてこれまで指摘されたことがない
- 2 視力についてこれまで指摘されたことがあり、受診をした（受診をしている）
- 3 視力についてこれまで指摘されたことがあるが、受診しなかった
- 4 わからない

問27 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと保護者が普段から会話をされていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 よくする | 2 する |
| 3 あまりしない | 4 ほとんどしない |

問28 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと保護者が一緒に何かをしたり、遊んだりしている時間は、1日あたり平均するとどれくらいになりますか。平日（月～金）・休日、それぞれについて、当てはまる番号1つに をつけてください。

<平日>

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 15分未満 | 2 15分～30分未満 |
| 3 30分～1時間未満 | 4 1時間～2時間未満 |
| 5 2時間～3時間未満 | 6 3時間～4時間未満 |
| 7 4時間以上 | |

<休日>

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 15分未満 | 2 15分～30分未満 |
| 3 30分～1時間未満 | 4 1時間～2時間未満 |
| 5 2時間～3時間未満 | 6 3時間～4時間未満 |
| 7 4時間以上 | |

問29 あなたは、子育てに関する悩みや心配ごとを相談する相手、または頼る事のできる相手がいますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

1と回答された方は、〔 〕内 ～ のあてはまる番号全てを で囲んでください。

- 1 いる
- | | | | |
|-------------------------------|----|------|------|
| 家族や親族 | 友人 | 近所の人 | 職場の人 |
| 子育てサークル・NPO・子育て支援施設（児童館など）の職員 | | | |
| 保育園・幼稚園の先生 | | | |
| 学校の先生やスクールカウンセラー | | | |
| 保健所・保健福祉センターの職員 | | | |
| 市役所の子育て関連担当の職員 | | | |
| 児童相談所の職員 | | | |
| 地域の民生委員・児童委員 | | | |
| 医療機関の医師や看護師など | | | |
| 民間の電話相談 | | | |
| その他（ ） | | | |

2 いない

問30 あなたは、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。
当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|--------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 ほとんどない | 4 ない |
| 5 分からない | |

問31 あなたのご家庭では、地域の行事に参加していますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく参加している | 2 時々参加している |
| 3 あまり参加していない | 4 まったく参加していない |

問32 あて名のお子さんがすでに入園・入学している場合にお伺いします。あなたのご家庭では、あて名のお子さんが通う園や学校の行事（授業参観や運動会など）に参加していますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく参加している | 2 時々参加している |
| 3 あまり参加していない | 4 まったく参加していない |

問33 あなたのご家庭にあるものについてお伺いします。
（1）～（10）それぞれ有・無どちらかに をつけてください。「無」を選ばれた場合は、その理由について当てはまる番号1つに をつけてください。

	有	無	持っていない理由			
			子どもが好きでない	子どもには必要ないと思う	経済的な理由から	その他
(1)テレビ	有	無	1	2	3	4()
(2)ビデオ・DVD	有	無	1	2	3	4()
(3)絵本・児童書	有	無	1	2	3	4()
(4)図鑑	有	無	1	2	3	4()
(5)マンガ本	有	無	1	2	3	4()
(6)スマートフォン	有	無	1	2	3	4()
(7)タブレット端末	有	無	1	2	3	4()
(8)ゲーム機	有	無	1	2	3	4()
(9)パソコン	有	無	1	2	3	4()
(10)知育玩具 (積み木・ブロックなど)	有	無	1	2	3	4()

問3 4 あて名のお子さんが小学1年生以上であり、「問3 3」で「(6)スマートフォン、(7)タブレット端末、(8)ゲーム機」のいずれか、若しくは全てを持っていないと回答された方にお伺いします。持っていないことを理由に、お子さんが友達関係で悩まれたことはありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。「1 ある」と回答された方は、具体的にどのような点で悩まれたのか記載してください。

- 1 ある ()
- 2 ない

問35 あなたのご家庭では、うっかりといった理由ではなく経済的な理由から、過去1年以内に次のような状況がありましたか。当てはまる番号全てに をつけてください。

- 1 栄養バランスをとるために必要な野菜などの食料品が買えなかった
- 2 家族に必要な衣料品が買えなかった
- 3 家族に必要な電化製品（電子レンジ・炊飯器・洗濯機・掃除機など）が買えなかった
- 4 自宅で十分な冷暖房器具の使用ができなかった
- 5 公共料金（電気・電話・ガス・水道など）が支払えなかった（支払いが遅れた）
- 6 家や車のローン、家賃など、支払う必要があるのに支払えなかった（支払いが遅れた）
- 7 自宅で、子どもが宿題をするのにふさわしい場所の確保ができなかった
- 8 1年に1回以上、子どもの新しい洋服・靴を買うことができなかった
- 9 子どもの学習に必要な文具や教材が購入できなかった
- 10 親の携帯電話（スマートフォンを含む）の購入・切り替えができなかった
- 11 子どもを学校の部活に参加させられなかった
- 12 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
- 13 子どもを修学旅行に行かせられなかった
- 14 入学や誕生日など特別な日のお祝い、お年玉の準備ができなかった

ご協力ありがとうございました。

(中学を卒業した子どもの保護者用)

福知山市子どもの生活状況などに関するアンケート

アンケートへのご協力をお願い

～ 全ての子どもが、その将来に夢や希望をもって
成長していける社会を目指して～

このアンケートは、「保護者のお子さんとの関わり」「お子さんへの将来展望」「お子さんがおられるご家族みなさんの健康状態」「ご家庭の経済状況」など、ご家庭の状況をお聞きするものです。

アンケートにより現状を把握することで、全ての子どもが健やかに育成されるために、子どもやご家族にどのような働きかけが必要か、今後の子ども・子育て支援体制をどのように進めていく必要があるのかを検討するための、基礎資料とします。

アンケートへのご協力をお願いします。

平成 3 1 年 4 月

福知山市福祉保健部子ども政策室

【ご回答にあたってのお願い】

このアンケートは無記名式です。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、アンケートの目的以外に使用することはありません。

< アンケートに関する問い合わせ先 >

福知山市福祉保健部子ども政策室

担当：高山・原田

電話：0773-24-7055 F a x：0773-23-7011

問7 宛名のお子さんと生計を共にしている方全員の1年間の収入を合わせた「世帯全体の収入」をお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

収入とは、給与（ボーナスも含む）や事業の売上のほか、児童手当・児童扶養手当・雇用保険などの給付金、障害年金などの公的年金、生活保護、養育費、親などからの支援などの収入の総計です。

- | | | | |
|----|-------------|----|-------------|
| 1 | 0円 | 2 | 1～50万円未満 |
| 3 | 50～100万円未満 | 4 | 100～150万円未満 |
| 5 | 150～200万円未満 | 6 | 200～250万円未満 |
| 7 | 250～300万円未満 | 8 | 300～400万円未満 |
| 9 | 400～500万円未満 | 10 | 500～600万円未満 |
| 11 | 600～700万円未満 | 12 | 700～800万円未満 |
| 13 | 800～900万円未満 | 14 | 900万円以上 |
| 15 | わからない | | |

問8 あなたのご家庭で利用されている制度や手当などがあれば、当てはまる番号全てに をつけてください。

- 1 児童手当（子ども手当）
- 2 児童扶養手当（ひとり親世帯で支給決定を受けた方）
- 3 特別児童扶養手当
- 4 公的年金（障害年金、遺族年金、基礎年金 など）
- 5 就学援助制度
- 6 生活保護制度

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況をお聞かせください。

1と回答いただいた方は、〔 〕内の ～ のうちあてはまる番号を で囲んでください。

産前産後休暇・育児休暇・介護休暇など休暇中の場合は「1」と回答してください。

現在、ひとりでお子さんを育てておられる場合は当てはまる方だけに をつけてください。

お母さん・お父さん以外の方が親代わりをされている場合は、その役割に準じてご記入ください。

例)おばあさんが母に代わって宛名のお子さんを育てておられる場合は<お母さん>の欄に記入。

<お母さん>

- 1 働いている [正規職員 非正規職員で1か所に勤務
非正規職員で2か所以上に勤務
その他()]
- 2 働いていない

- 3 他に優先すべきことがある
- 4 わからない

<お金について>

- 1 優先している
- 2 できるなら優先したいが、できない理由がある
- 3 他に優先すべきことがある
- 4 わからない

問13 宛名のお子さんは、規則正しく生活のリズムができていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 できている
- 2 どちらかというとできている
- 3 どちらかというとできていない
- 4 できていない

問14 宛名のお子さんが、家でテレビゲームやスマートフォンを利用したり、テレビやDVDなどを見ている時間は平日(月～金)1日でどれくらいですか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 まったくしない
- 2 1時間未満
- 3 1～2時間
- 4 2～3時間
- 5 3～4時間
- 6 4時間以上
- 7 わからない
- 8 持っていない(家がない)

問15 あなたのご家庭では、宛名のお子さんは夕食をいつもどのような形でとっていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 家族そろって食べる
- 2 大人の家族の誰かと食べる
- 3 子どもだけで食べる
- 4 一人で食べる
- 5 その他()

問16 宛名のお子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに をつけてください。

- 1 ほぼ毎日通っている
- 2 欠席は年間30日未満である
- 3 欠席は年間30日以上、60日未満である
- 4 欠席は年間60日以上、1年未満である
- 5 欠席が1年以上続いている
- 6 学校には行っていない
- 6 わからない

問17 宛名のお子さんは、現在、塾や習い事(クラブなどを含む)に通っていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

4 治療していないむし歯が4本以上ある

問25 宛名のお子さんの視力についてお伺いします。当てはまる番号1つに をつけてください。

- 1 視力についてこれまで指摘されたことがない
- 2 視力についてこれまで指摘されたことがあり、受診をした（受診をしている）
- 3 視力についてこれまで指摘されたことがあるが、受診しなかった
- 4 わからない

問26 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと普段から会話をされていますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 よくする | 2 する |
| 3 あまりしない | 4 ほとんどしない |

問27 あなたは、子育てに関する心配ごとや悩みを相談する相手がいいますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

1と回答された方は、〔 〕内 ~ のあてはまる番号全てを で囲んでください。

- 1 いる 〔 家族や親族 友人 近所の人 職場の人
子育てサークル・NPO・子育て支援施設（児童館など）の職員
保育園・幼稚園の先生
学校の先生やスクールカウンセラー
保健所・保健福祉センターの職員
市役所の子育て関連担当窓口の職員
児童相談所の職員
地域の民生委員・児童委員
医療機関の医師や看護師など
民間の電話相談
その他（ ） 〕
- 2 いない

問28 あなたは、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか？
当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|----------|--------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 ほとんどない | 4 ない |
| 5 分からない | |

問29 あなたのご家庭では、地域の行事に参加していますか？当てはまる番号1つに をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく参加している | 2 時々参加している |
| 3 あまり参加していない | 4 まったく参加していない |

問30 あなたのご家庭では、宛名のお子さんが通う学校の行事（授業参観や体育祭など）に参加していますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく参加している | 2 時々参加している |
| 3 あまり参加していない | 4 まったく参加していない |
| 5 学校へ行ってない | |

問31 あなたのご家庭では、うっかりといった理由ではなく経済的な理由から、過去1年以内に次のような状況がありましたか？当てはまる番号全てに をつけてください。

- 1 栄養バランスをとるために必要な野菜などの食料品が買えなかった
- 2 家族に必要な衣料品が買えなかった
- 3 家族に必要な電化製品（電子レンジ・炊飯器・洗濯機・掃除機など）が買えなかった
- 4 自宅で十分な冷暖房器具の使用ができなかった
- 5 公共料金（電気・電話・ガス・水道など）が支払えなかった（支払いが遅れた）
- 6 家や車のローン、家賃など、支払う必要があるのに支払えなかった（支払いが遅れた）
- 7 自宅で、子どもが学習をするにふさわしい場所の確保ができなかった
- 8 1年に1回以上、子どもの新しい洋服・靴を買うことができなかった
- 9 子どもの年齢にふさわしい書籍が購入できなかった
- 10 子どもの学習に必要な文具や教材が購入できなかった
- 11 必要性を感じるが、子どもの携帯電話（スマートフォンを含む）の購入・切り替えができなかった
- 12 親の携帯電話（スマートフォンを含む）の購入・切り替えができなかった
- 13 子どもを部活やクラブに参加させられなかった
- 14 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
- 15 子どもを修学旅行に行かせられなかった
- 16 入学や誕生日など特別な日のお祝い、お年玉の準備ができなかった

ご協力ありがとうございました。